



# 2015 年度 事業報告書



愛農人倶楽部

公益財団法人 神戸 YWCA



キックオフ・ミーティング



どうなってるの、今の日本!? 言ってみよう、素朴なギモン!  
~ 安保関連法案ってなに? 知ろう、話そう、考えよう ~

# 目次

YWCAの使命（ミッション）	1
事業報告	
Ⅰ．平和・人権事業	3
平和活動部	
現代史勉強会いもづる	
ピース・ブリッジ（Peace Bridge）	
被災者支援プロジェクト	
Ⅱ．国際理解・多文化共生事業	5
国際相互支援部	
IWA（International Women's Assistance）	
Ⅲ．地域福祉事業	7
地域福祉部	
わいわいランチ	
わいわいダイルーム	
わいわい亭	
弓の木歌の集い	
ちやいやあらんど	
夜回り準備会	
声の奉仕	
カフェもぐもぐ	
神戸YWCAまごの手（居宅介護事業所・訪問介護事業所）	
Ⅳ．生涯学習・人材育成事業	22
愛農人倶楽部	
アフタヌーン・ティー	
文学講座	
マザースカレッジ企画会	
わいわい科学クラブ	
神戸YWCA学院	
（日本語コース・日本語教師要請コース・外国語コース・地域福祉コース・文化教養コース）	
Ⅴ．活動共通事業	32
キリスト教基盤部	
讃美歌を歌おうかい	
聖書を読む会	
運営委員会	
会員ケア委員会	
WAM運営委員会	
Ⅵ．広報・ファンドレイジング	38
バザー実行委員会	
機関紙編集部	
Ⅶ．理事会	
監事	
評議員会	
会勢報告	43
2015年度公益財団法人神戸YWCA組織図 / 評議員・理事・運営委員・職員	44
決算報告	47
監査報告	58



シュトゥケンイチ BLUES NIGHT



「ある精肉店のはなし」 瀬瀬あや監督のおはなし

## YWCA の使命（ミッション）

### 公益財団法人神戸 YWCA の目的

この法人は、キリスト教の基盤に立って、青少年及び女性の人格向上を図り、教養を深めるとともに、人間の尊厳を守り、奉仕の精神を養うことにより、平和と正義の実現に寄与することを目的とする。（定款第3条）

### 2015 年度 神戸 YWCA ビジョン・活動目標・標語聖句

#### 神戸 YWCA ビジョン

- 平和・地域・女性
- ・非核・非暴力による平和をつくる
- ・憲法をまもり、世界に広める
- ・誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指す
- ・若い女性が社会変革する力をつける

#### 活動目標

- ・若者が主人公になれる場をつくる
- ・神戸 YWCA の活動を広く知らせる

#### 標語聖句

何事も愛をもって行いなさい（コリントの信徒への手紙 16 章 14 節）

### 日本 YWCA 主題・使命（ミッション）・ビジョン 2015

#### 第 31 回全国総会決議

**主 題** 「平和を実現する人は幸いである」（マタイによる福音書 5 章 9 節）

#### 日本 YWCA の使命（ミッション）

イエス・キリストに学び、共に生きる世界を実現する  
世界の人々と共に人権・平和・環境の問題に取り組む

#### 日本 YWCA ビジョン 2015

- 1 非核・非暴力による平和を実現する
  - ・平和憲法をまもり、世界に広める
  - ・市民レベルで東北アジアの信頼関係を築く
- 2 女性と子どもの権利をまもる
- 3 若い女性のリーダーシップを養成する

# 事業報告

## I. 平和・人権事業

### 平和活動部

代表 齋藤明子  
 メンバー 9人  
 担当職員 秋月啓子

#### ● 活動方針・目標

- ・非核・非暴力の平和な社会を求める。
- ・若い人、関心のない人たちにも参加してもらえるようなプログラムを進める。
- ・平和憲法をまもる活動を継続する。

#### ● 活動報告

今年度の平和活動部は、対外的に発信することを考える際、「異なる意見を持つ人に、自分の意見を伝えるためのツールを磨く」という作業に取り組んだ。この夏急展開を見せた安保法案に関し、どのような活動を行なうことが効果的かを考えた結果である。普段、同じ意見を持つ人々とのみ話していると、相手に伝えるスキルは鈍ってしまう。対立する立場に立って意見を述べる練習をし、その結果「どうなっているの、今の日本!?!」シリーズを運営委員会と共催で行なうことができた。

また、憲法出前プログラムも引き続き行なっている。今年度は神戸松蔭女子学院大学と神戸西教会にて実施。学生から一般社会人へと対象がひろがったのはうれしいことである。「広く伝える」という立場から、YWCAの会員にも伝えるべく、10月のバザーで「コント“PEACEs”」による「平和なコントパフォーマンス」を行なった。政治のテーマをコントに仕立て、楽しく演じ、好評だった。政治の動向は深刻ではあるが、肩の力を抜いてみなさんに思いを伝える一つの方法となった。

ポーポキピースプロジェクト、神戸YMCAとの協同で、3月には「ポーポキミニ平和映画祭」を本館チャペルで実施。活動発表を行なった若者たちとの意見交換もできた。

今年度も忙しいメンバーが多く、部会が成立しないため日時を再調整したこともあった。どのような形で活動するのがよいか、課題である。

#### ● 活動実績

開催日	部会 (付記以外場所はすべて神戸YWCA)	参加人数	延参加人数	平均参加人数
5月26日	第1回 部会	7	76	7
7月3日	第2回 部会	6		
8月8日	第3回 部会	7		
10月2日	第4回 部会	7		
11月6日	第5回 部会	7		
1月8日	第6回 部会	7		
2月26日	第7回 部会 (ANAクラウンプラザホテル内レストラン)	8		
3月3日	第8回 部会	6		

開催日	プログラム・イベント名 (場所)	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数
6月21日	集団的自衛権行使容認・特定秘密保護法に反対する大集会・パレード (神戸東遊園地)	兵庫県弁護士会集会主催		神戸YWCA より3
7月18日	アベ政治を許さない市民デモ KOBE (神戸・三宮センター街)			神戸YWCA より8
7月22日	憲法出前プログラム 松蔭女子学院大学	大学生とともに憲法について考える	川辺、鶴崎、寺沢	5
8月22日	8.22「憲法は宝だ」集会 (神戸国際会議場)	8.22「憲法は宝だ」集会 実行委員会	宝田明、石川康宏	神戸YWCA より3

8月23日	アベ政治を許さない市民デモ KOBE ② (兵庫県私学会館・三宮センター街)			神戸YWCA より5
8月29日	子どもたちの未来が不安！ヤメテ！ 戦争法案	ちびくろ保育園他主催	孫崎享、上原カイザ他	神戸YWCA より8
	安保法制関連法案 & 特定秘密保護法 反対パレード (神戸・東遊園地)	兵庫県弁護士会主催		
9月12日	アベ政治を許さない市民デモ KOBE ③ (神戸・東遊園地)			神戸YWCA より8
10月12日	コント“PEACEs”による 「平和なコントパフォーマンス」 神戸YWCA バザー	会員、地域の人々と 政治問題について共有する	平和活動部メンバー	多数
12月18日	どうなってるの、今の日本② マイナンバー制度 神戸YWCA 本館	今の日本の状況について 考える	福井敏光 社会保険労務士	15
1月31日	憲法出前プログラム 神戸西教会	教会員とともに 憲法について考える	川辺、鶴崎、寺沢	34
3月31日	ポーポキミニ平和映画祭 神戸YWCA 本館	ポーポキピースプロジェクトの 活動報告を通して、平和につ いて考える	ポーポキピースプロジェ クト、神戸YMCA、神戸 YWCA 平和活動部	25
延参加人数 (全 5 プログラム)				79

## 現代史勉強会 いもづる

代表 山本かえ子  
メンバー 4人

### ● 活動方針・目標

- ・今年度は、いもづる自体の初期から現在までの活動内容を振り返り、今後の活動の展望を探りたい。「次世代に渡す」世代や「次世代」など、多彩な世代が集い、対話を深める場をもちたい。
- ・メンバー個人個人の事情等のため、昨年度までのような講演会活動の実施は厳しい。ただし、日本の現況への危機意識は高く、対外的な発信活動にもなるため、下半期に1回か2回でも実施することができればよいと考えている。

### ● 活動報告

今年度のいもづるは、メンバーの引退に伴う代表の交代とメンバーの減少があり、会の存続自体も危ぶまれたが、ひとまず現在のメンバーでできる範囲で活動していくこととなった。しかし、6月のミーティング以後、メンバーが多忙な中で具体的に活動をすすめることがままならず、今年度は講師の働きかけのおかげで何とか一回の学習会を実施することができた。学習会を開き、次へとつながる学びを得られたことは大きな収穫であったし、公開にしたことで地域の人々への学習機会の提供としても実施できた。しかし、現在の戦争へと向かいつつある社会情勢の中、今こそ活動していかなければならない。様々な活動を掛け持ちしているメンバーも多いため、負担が重くならないように協力し合いながら、来年度はもう少し活動回数を増やしたい。

### ● 活動実績

開催日	ミーティング (場所)	主な議事内容など	参加 人数	延参加人数 (全回数)	平均参加 人数
6月10日	第1回ミーティング (神戸市内飲食店にて)	前代表からの引継ぎ および今後の活動のやり方について	5	16	4
10月30日	第2回ミーティング (神戸YWCA)	学習会の実施について検討	4		
1月20日	第3回ミーティング (神戸YWCA)	12月実施の学習会振り返りと 来年度に向けて	3		
3月23日	第4回ミーティング (神戸YWCA)	12月の学習会テーブル起こし内容の確認と来年度 の活動について、資料保存について	4		

開催日	プログラム・イベント名 (場所)	テーマ・主な内容	講師名	参加 人数
12月11日	公開学習会「安倍政権を “透視”せよ！」 (神戸YWCA)	安倍政権、安倍晋三首相のもつ国家観や社会 観などを知る機会をつくり、それらを手掛かり に、政権が日本社会をどこへ導こうとす つあるのかを考え、話し合う	佐治孝典 (近代日本思想史研究者)	14

## ピース・ブリッジ (Peace Bridge)

代表 寺沢京子  
メンバー 3人

### ● 活動方針・目標

- ・様々なピースブリッジ（平和の橋）を架けるよう努める（世代間の橋、国や地域をつなぐ橋、過去から現在、未来への橋など）。
- ・若い人たちに、身近な問題から「平和」について考えてもらう。

### ● 活動報告

2015年に“Peace Bridge”を立ち上げ、約2か月に1度のペースで活動を行なってきた。まずは「女性たちの貧困—新たな連鎖の衝撃」を読み、NHKスペシャル「女性たちの貧困」を観て、話し合う会を持った。非正規雇用の独身女性の厳しい現実、子どもの貧困などを学んだ。次に、日本国際民間協力会 Nicco に勤務し、パレスチナ赴任予定の多田茉莉絵さんからの報告、被災地 NGO 協働センターの増島智子さんに「NGO と平和」と題する話をうかがった。また、毎日放送報道局の坪井兵輔さんから「よみがえる最前線～神戸と核と日米同盟」というテーマで話をさせていただき、多数の参加者を得た。2016年1月には、松蔭女子学院大学で「女性の視点からみる～貧困・ジェンダー・平和」というシンポジウムを催した。そして、3月には「生きにくい社会の構造—安保・TPP・そして食」というテーマで、京大人文学研究所の藤原辰史さんを講師に迎えて学習会を開くことができた。

他団体やグループと協力できたことが成果だと思っている。来年度も同様に、平和な社会を目指す活動に力を注ぎたい。

### ● 活動実績

開催日	プログラム・イベント名 (場所)	テーマ・主な内容	講師名 (肩書きなど)	参加人数
4月10日	DVD鑑賞と読書会	非正規雇用の女性の貧困		7
5月16日	学習会	国際協力活動を通して	多田茉莉絵さん (日本国際民間協力会 Nicco)	9
6月26日	学習会	NGO と平和	増島智子さん (被災者 NGO 協働センター)	9
10月17日	学習会	よみがえる最前線 ～神戸と核と日米同盟～	坪井兵輔さん (毎日放送報道局)	60
2016.1.30	シンポジウム	女性の視点からみる ～貧困・ジェンダー・平和～	辰濃菜穂さん、 メリード・ハインズさん	17
3月18日	学習会	生きにくい社会の構造 ～安保・TPP・そして食～	藤原辰史さん (京大人文学研究所)	37
延参加人数 (139人)				

## 被災者支援プロジェクト

代表 鍋谷美子  
メンバー 5人  
担当職員 西本玲子

### ● 活動方針・目標

- ・長期的視点にたつて、福島およびその近隣県の放射能被災下に留まらざるを得ない方たちの必要に応える活動を実施する。
- ・放射能の問題は数年では解決するものではなく、それ故に継続性を常に念頭におき、被災者の方たち自身の活動や広がりとなっていくようにも応援する。

### ● 活動報告

今年度も引き続き、福島およびその近隣県の高放射線量下に留まらざるを得ない人たちへの支援を行なった。日本YWCA被災者支援 com7300 と協働する「セカンドハウス・プログラム」は、全国の3セカンドハウス(横浜、名古屋、神戸)で展開。神戸YWCAは今年度も神戸セカンドハウスを担当すると共に、全体コーディネートも行なった。大切な家屋を提供してくださっている大家の皆様には感謝をしたい。全国3セカンドハウスの利用者は30家族107人、そのうち神戸セカンドハウス利用者は11家族37人である。

神戸セカンドハウスの利用家族とは、ご本人が望んでくださればできる限り夕食会を実施し、福島に生活する現状や思いをお聞かせいただいた。またプログラムを維持するには、寝具の洗濯やセッティング、室内



の清掃などがその都度必要となるが、そのために協力くださる方々が「おそうじし隊」として名乗りをあげてください、活動をすすめられた。

今年度はセカンドハウス以外の活動を行なうことができなかったが、来年度以降も福島の実状を学び、放射能被災下にある方々のために何ができるかを考え、具体的な活動につなげていきたい。

## ● 活動実績

開催日	部会 (場所は全て神戸YWCA)	主な議事内容など	参加人数	延参加人数 (全回数)	平均参加人数
6月24日	第1回 部会	・自己紹介および代表決定 ・セカンドハウス現況報告 ・保養ワークショップ参加報告 (6月8日 in 福島)	7	12 (全2回)	6
12月12日	第2回 部会	・来年度セカンドハウスの現況報告 ・来年度計画について ・com7300プログラム：福島の高校生プログラムへの参加について	5		

開催日	プログラム・イベント名 (場所)	テーマ・主な内容	利用者
5月3日～6日	セカンドハウス・プログラム	福島及びその近隣県の放射能被災下にある家族の保養受け入れ	1家族5人
7月17日～21日	セカンドハウス・プログラム	〃	2家族5人
7月22日～8月4日	セカンドハウス・プログラム	〃	1家族3人
8月12日～20日	セカンドハウス・プログラム	〃	1家族3人
8月26日～30日	セカンドハウス・プログラム	〃	1家族3人
9月19日～23日	セカンドハウス・プログラム	〃	1家族4人
12月28日～1月5日	セカンドハウス・プログラム	〃	1家族4人
1月6日～15日	セカンドハウス・プログラム	〃	1家族3人
3月24日～30日	セカンドハウス・プログラム	〃	1家族4人
4月1日～4日	セカンドハウス・プログラム	〃	1家族3人
延参加人数 (全10回)			11家族37人
利用都度	お掃除し隊	セカンドハウス利用の前後で住居の掃除と洗濯を実施 (全11回)	参加メンバー 延28人
利用都度	利用者との夕食会	セカンドハウス利用者との交流食事会 (全4回)	参加メンバー 延15人
延参加人数 (全2プログラム、15回)			43

## Ⅱ . 国際理解・多文化共生事業

### 国際相互支援部

代表 小川佐由理  
メンバー 4人  
担当職員 西本玲子

#### ● 活動方針・目標

- ・世界の難民問題について学び、神戸YWCA国際相互支援部としてできることを模索する。
- ・国際相互支援部メンバーがまずは世界の現状について学ぶ。特にテーマは「難民」。
- ・学んだ内容については機関紙あるいはFacebookなどを利用して外部への発信を行なう。

#### ● 活動報告

国際相互支援部のメンバー自身が世界の現状を学ぶために、他団体のイベントに参加したり、部員が講師になり勉強会「コンゴの危機」、映画視聴「LIVING ALONG THE FENCELINE」を行なった。これらの学びが外部発信につながらなかったのが反省点である。

今年度の「Taste the World (TTW)」(11月7日(土)17:30～、37人参加)では、日本で初めてネパールの難民認定を勝ち取った弁護士チームの一人である伊藤朝日太郎さん(キーストーン法律事務所・弁護士)を迎えた。ネパールの基礎知識、難民事情、日本の難民事情について、わかりやすい講演で好評を得た。TTWの目玉プログラムである食事に関しては、神戸YWCA学院日本語コース修了生が経営するネパールレストランから取り寄せ、YWCAならではのつながりを活かした。

2015年4月の「世界YWCAデー」(4月18日(土)11:00～、16人参加)では、会員相互のつながりが深まることを願い、お互いのリーダーシップをたたえあう軽食会を行なった。この会は会員同士が久しぶりに会う場を提供する役割も担っている。

また4月に起こったネパール地震のための募金を募り、28,258円を日本YWCAへ送金することができた。

## ● 活動実績

開催日	部会(場所)	議事内容	参加人数	延参加人数	平均参加人数
4月18日	第1回部会 (神戸YWCA)	今後の勉強会について	6	56	5
5月18日	第2回部会 (東灘区の飲食店にて)	①世界YWCAデーの振り返り ②勉強会について ③Taste the World (TTW) 内容について	6		
6月15日	第3回部会 (神戸YWCA)	①他団体「ランチトリップ」参加報告 ②勉強会「コンゴの危機」講師：梅沢	6		
8月31日	第4回部会 (神戸YWCA)	①TTWについて ②映画視聴 「LIVING ALONG THE FENCELINE」	6 陪席：小野木はる		
9月15日	第5回部会 (神戸YWCA)	TTWについて (食事、フェアトレード、予算、広報など)	4		
10月19日	第6回部会 (神戸YWCA)	TTW 段取最終確認など	6		
12月14日	第7回部会 (神戸YWCA)	①TTW 振り返り ②来年度計画・予算	5		
2月8日	第8回部会 (神戸YWCA)	①世界YWCAデーについて企画検討 ②映画鑑賞「The Insular Empire: America in the Mariana Islands:4 WWII Guam」	5 陪席：村野		
3月28日	第9回部会 (神戸YWCA)	世界YWCAデーの内容、段取りについて検討	5		
5月31日	他団体主催「ランチトリップ」に参加 (タイ料理レストラン)	Taste the Worldの企画の上で参考とするために参加。	3		
2月6日	NGO外国人救援ネット 学習会(三宮)	難民ナウ(宗田勝也さん)の講演に参加 (京都三条通ジャックなど、地域と結びついで活動)	2		

開催日	プログラム・イベント名 (場所)	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数
4月18日	世界YWCAデー (神戸YWCA)	お互いのリーダーシップを讃え合う		16
11月7日	Taste the World～ネパールを 味わい、ネパールを知る～ (神戸YWCA)	ネパールを通して、その国の難民事情、 日本の難民事情について知る	伊藤朝日太郎 (キーストーン法律事務所 所弁護士)	37
延参加人数(全2プログラム)				53

## IWA (International Women's Assistance)

代表 品川幸恵  
メンバー 6人

### ● 活動方針・目標

- ・在住外国人の生活支援を行ない、日本での生活がしやすくなるようにサポートする。
- ・外国人が日本の言葉や文化にふれる場を提供し、共に生きる社会を目指す。

### ● 活動報告

4月はメンバー、ボランティア、外国人学習者で「お花見」をした。弓弦羽神社の桜を見学。神主さんが神社の由来について話してくださった。偶然にも結婚式に出会い、有意義な時を持った。

7月は本館4階ロビーで「IWA カフェ」を開いた。七夕の笹を飾り、浴衣や帯などを並べて、神戸YWCA

学院日本語コースの「夏季日本語集中講座」の外国人受講生に日本文化の紹介をした。短冊に願いごとを書いて笹に結んだり、冷たい飲み物やお菓子を食べながら、国籍を越えておしゃべりを楽しんだりした。

「ボランティア交流会」は日ごろ会う機会が少ないメンバーとボランティアの親睦と情報共有に役立っている。

「おしゃべりパートナー」は外国人学習者との相互信頼のもと、内容の濃い活動がなされている。「日本語が話せても生活情報は教えてもらわないとわからない」と喜ばれている。特に子育て中のお母さんは幼稚園や小学校からの文章、小学校入学前の健康診断の案内等が読めず、封筒ごと持ってきて相談をされている。

2月の「切り絵講習・交流会」は中国の方を講師に招き、切り絵の歴史やご自身の日本での生活等についても話を伺った。作品を仕上げた後に交流の時間を持った。

## ● 活動実績

開催日	ミーティング (場所)	主な議事内容など	参加 人数	延参加人数 (全回数)	平均参加 人数
4月3日	第1回定例ミーティング (神戸青少年会館)	IWAの活動について協議・連絡 (前年度の会計報告、今年度の活動について等)	4	32	4
5月1日	第2回定例ミーティング (神戸青少年会館)	IWAの活動について協議・連絡 (おしゃべりパートナーの現状報告、 生活支援について等)	3		
6月12日	第3回定例ミーティング (神戸青少年会館)	IWAの活動について協議・連絡 (活動状況報告、浴衣の着付け講習申込等)	6		
7月10日	第4回定例ミーティング (神戸青少年会館)	IWAの活動について協議・連絡 (活動状況報告、今年度のIWAカフェについて等)	5		
9月11日	第5回定例ミーティング (神戸青少年会館)	IWAの活動について協議・連絡 (活動状況報告、今後の活動について協議等)	4		
11月6日	第6回定例ミーティング (メンバー宅)	IWAの活動について協議・連絡 (活動状況報告、今後の活動について協議等)	4		
3月3日	第7回定例ミーティング (メンバー宅)	IWAの活動について協議・連絡 (今年度の振り返り、次年度の活動について 協議、連絡等)	6		

開催日	プログラム・イベント名 (場所)	テーマ・主な内容	参加人数
4月20日	IWA交流会 (THE GARDEN PLACE SOSHUEN)	メンバー、ボランティアの親睦	2
5月14日	生活支援 (布引ハーブ園)	小さい子どもを連れて家族で安心して出かけられる近場の 観光地を教えてほしいとの要望を受けて実施。	2
7月3日	浴衣の着付け (神戸YWCA)	浴衣を着れるようになりたい、子どもに着せてあげられる ようになりたいとの要望を受けて実施。 (参加人数：在住外国人1、ボランティア2)	3
随時	おしゃべりパートナー (神戸YWCA・神戸青少年会館)	おしゃべりを通して外国人たちのさまざまなニーズを知り、 生活情報を提供して日本での暮らしをサポートする。 1対1で週1回、90分まで。無料。(4組、延40回実施)	延80
11月26日	IWA交流会 (四海飯店)	メンバー、ボランティアの親睦	5
6月5日	ひょうご国際団体連絡協議会 (兵庫県国際交流協会)	総会	2
	GONCo会議 (神戸国際協力交流センター)	外国人相談窓口担当者連絡会 (年6回)	延4
3月3日	ひな祭り交流会 (メンバー宅)	在住外国人、メンバー、ボランティアの親睦を図るため企画。 (参加人数：在住外国人0、メンバー・ボランティア6)	6
延参加人数 (全8プログラム)			104

## Ⅲ．地域福祉事業

### 地域福祉部

代表 井上みち子、谷合公江  
メンバー 5人  
担当職員 大江雅子、西本玲子

## ● 活動方針・目標

- ・外部への情報の発信として「わいわい通信」の年1～2回発行に主力を注ぐ。
- ・神戸YWCA分室維持、グループの課題などについて相談・交流する。

## ● 活動報告

今年度は、「わいわい通信」は年1回の2016年3月発行とし、3月12日開催の定期会員集會にて「わいわい通信25」を手渡し始めた。特集は「地域交流スペースをめざして」。分室をもっと地域に開いたものにしたと、ガレージスペースを明るく塗り直し、そこで木曜カフェやミニショップをやり始めて1年6か月。さらに、3月上旬に「待合スペース」の仕切りを取り外すなどの改修をおこなった。扉を開けると、明るく室内が見渡せるようになった。分室を、地域の人々が気軽に立ち寄り、憩い、集い、学び合えるスペースであるようにしたいと活動している。「わいわい通信25」は、その現状報告である。

部会では「オープンスペース」の活用やその呼びかけ、利用規約の作成等を始めたが、2016年度には分室全体を「地域交流スペース」と捉えて完成したい。夏に「カフェもぐもぐ」グループが立ち上がり、キッチンと作業スペースが改修された。地域福祉部がプロジェクト母体となり、動きながら、企画し、仕上げていく。

10月本館「ふれあい感謝バザー」、3月分室「わいわいバザー」では、分室ボランティアの大勢の方々が活動し、売り上げに大きく貢献した。

## ● 活動実績

開催日	ミーティング (場所は全て神戸YWCA)	主な議事内容など	参加人数	延参加人数 (全回数)	平均参加人数
6月5日	第1回 部会	年間計画の具体化にむけて	6	44 (全8回)	6
6月26日	第2回 部会	オープンスペースの活用、利用規約	6		
7月10日	第3回 部会	オープンスペースの活用、利用規約 カフェもぐもぐの活動およびキッチン改修	7		
10月23日	第4回 部会	「わいわい通信25」発行に向けて キッチン改修後の「木曜カフェ」 カフェもぐもぐの活動について	6		
12月11日	第5回 部会	「わいわい通信25号」編集会議	4		
1月15日	第6回 部会	「わいわい通信25号」特集校正	5		
2月5日	第7回 部会	「わいわい通信25号」全般校正	5		
3月30日	第8回 部会	「わいわい通信25号」発送	5		

## わいわいランチ

代表 井上みち子  
メンバー 42人  
アルバイトスタッフ 井上早苗、長江麻紀

## ● 活動方針・目標

昼食の配食サービスを行なうことで、一人暮らしの高齢者やそれに準じる方、障がいをもつ方が、住み慣れた地域で豊かな暮らしを続けられるように、食生活面から支える。

## ● 活動報告

18年目を迎えたわいわいランチは、神戸YWCA分室を拠点に、毎週月～金曜日に高齢者に昼食時のお弁当を届けている。利用者のお大半は80代～90代で、特に一人暮らしの方には、お顔を見ての受け渡しや声かけを心がけている。「飽きがこない家庭料理でおいしい」「雨の中をご苦労様」など、利用者の方からの感謝の言葉が活動の励みになっている。

配食数は、昨年度より969食減で、4,753食であった(1日平均20.5食)。因みに、2008～2013年度は6,500食前後を維持していたが(1日平均28.2食)、2014年度から減少し始めた(5,722食、平均24食)。大幅な減少の原因のひとつとして、長年の利用者が5人やめられたことがある(死亡、入院、特別食へ移行等)。新規利用者は15人以上申し込みがあったが、10人は半年継続しなかった。「高齢者にお弁当をお届けする地域福祉に資する配食サービス」というよりも、「気楽な出前」と捉えた方が多かったのかもしれない。

大幅な収入減となっても経費はなかなか抑えることができず、2015年度は大きな赤字となっている。次年度は、新規利用者を増やし1日25～30食を目指す。また高齢者向け配食サービスの意義の再確認や活動が持続可能な体制を検討する話し合いを定期的に持ちたい。

配膳、配達ボランティアは、運転できる人や車に乗れる人も含めて常に大募集中である。

## ● 活動実績

開催日	ミーティング (場所は全て神戸YWCA分室)	主な議事内容など	参加人数	延参加人数 (全回数)	平均参加人数
6月16日	調理者ミーティング	調理者ルールについて、業務時間、仕事の範囲、担当日の確認、買い出し日について等	9	43 (全6回)	7
7月3日	金曜日メンバー ランチミーティング	年間計画、活動内容、ボランティアと職員の配置など	7		
7月6日	月曜日メンバー ランチミーティング	年間計画、活動内容、ボランティアと職員の配置など	5		
7月7日	火曜日メンバー ランチミーティング	年間計画、活動内容、ボランティアと職員の配置など	9		
7月8日	水曜日メンバー ランチミーティング	年間計画、活動内容、ボランティアと職員の配置など	7		
7月9日	木曜日メンバー ランチミーティング	年間計画、活動内容、ボランティアと職員の配置など	6		

月	配食日数	ランチ配食数	全配食数*	参加ボランティア (延/月)
4月	21	377	626	163
5月	18	340	543	140
6月	22	427	728	174
7月	22	406	728	188
8月	16	298	518	126
9月	19	355	605	152
10月	21	393	692	173
10月	19	369	626	152
12月	16	340	564	125
1月	16	369	586	120
2月	20	559	834	158
3月	22	520	841	183
合計	232	4753	7891	1854/年

\* 全配食数：ランチ配食、会食、グループ活動での昼食、ボランティア食事など

開催日	プログラム (場所は全て神戸YWCA分室)	主な内容	延参加人数 (全回数)	平均参加人数
毎週第3 金曜日	金曜食事会	在宅生活を送る高齢者が集い、共に会食する場の提供 (7月は台風のため休み)	77 (全11回)	7

## わいわいダイルーム

代表 川上和恵、高原佐美  
メンバー 9人

### ● 活動方針・目標

- ・独居あるいは昼間独居、また同居家族があっても外出の機会が少ない高齢の方々を対象に、仲間づくり、生きがいがづくり、健康づくりを考えたデイサービス・プログラムを実施する。また、専門職による介護予防の視点に立ったプログラムを通し、健康や本人のもつ能力の維持・向上に努める。
- ・わいわいダイルームの活動を広報し、参加者を増やす。

### ● 活動報告

毎週火曜日に神戸YWCA分室で実施しているわいわいダイルームは、神戸市の委託を受けた生きがい対応型デイサービスであり、介護予防も目的としている。利用登録者は現在7人である。少人数ではあるが、それだけに密に参加者の方々に対応でき、家庭的な雰囲気ダイルームである。介護予防プログラムでは、書道やクラフトづくり、理科実験などバラエティに富むよう工夫しているが、特に音楽療法士によるプログラムがあるのは特徴のひとつである。年2回の外出プログラムも好評である。

## ● 活動実績

開催日	プログラム・イベント名 (付記以外、場所は全て 神戸YWCA分室)	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数	
				利用者	ボランティア
4月7日	第1回 わいわいデイルーム	ビニールの敷物づくり	後藤あけみ	7	4
4月14日	第2回 わいわいデイルーム	トランプゲーム	川上和恵	4	4
4月21日	第3回 わいわいデイルーム	わいわい科学クラブ (和紙の模様付け)	海妻彦之 井上みち子	6	5
4月28日	第4回 わいわいデイルーム	健康講座(認知症の話)	高橋瑞枝 谷合公江	4	6
5月12日	第5回 わいわいデイルーム	レクリエーション (昔ながらの遊びを楽しむ)	青柳正	3	5
5月19日	第6回 わいわいデイルーム	書道	大工原則子	6	6
5月26日	第7回 わいわいデイルーム	健康講座(ひらがな計算等)	高橋瑞枝	5	4
6月2日	第8回 わいわいデイルーム	手づくり講座 (マグネットとストラップ)	後藤あけみ	6	4
6月9日	第9回 わいわいデイルーム	リクリエーション (カラムゲーム等)	川上和恵	5	5
6月16日	第10回 わいわいデイルーム	俳画	入江徹	6	5
6月23日	第11回 わいわいデイルーム (ザ・プレイス)	外食プログラム	高橋瑞枝 谷合公江 川上和恵	5	7
6月30日	第12回 わいわいデイルーム	わいわい科学クラブ (ゼリーづくり)	海妻彦之 井上みち子	5	6
7月7日	第13回 わいわいデイルーム	手づくり講座(髪飾りゴムを用いて クラフトづくり)	後藤あけみ	2	4
7月14日	第14回 わいわいデイルーム	歯の健康講座	きよばやし 歯科医院	4	5
7月21日	第15回 わいわいデイルーム	色紙での切り絵づくり	青柳正	4	4
7月28日	第16回 わいわいデイルーム	健康講座 (ストロー吹き、体操など)	高橋瑞枝	5	5
8月4日	第17回 わいわいデイルーム	手づくり講座(飾りうちわづくり)	谷合公江	5	5
8月18日	第18回 わいわいデイルーム	書道	大工原則子	6	5
9月1日	第19回 わいわいデイルーム	手づくり講座(飾りうちわづくり)	谷合公江	5	6
9月8日	第20回 わいわいデイルーム	わいわい科学クラブ (浮沈子)	海妻彦之 井上みち子	5	7
9月15日	第21回 わいわいデイルーム	俳画	入江徹	6	5
9月29日	第22回 わいわいデイルーム	健康講座(血液検査の話)	高橋瑞枝	5	7
10月5日	第23回 わいわいデイルーム	手づくり講座(ストラップづくり)	後藤あけみ	6	6
10月13日	第24回 わいわいデイルーム	わいわい科学クラブ (水中花)	海妻彦之 井上みち子	3	6
10月20日	第25回 わいわいデイルーム	書道	大工原則子	5	8
10月27日	第26回 わいわいデイルーム (精養軒)	外出プログラム 帰宅後、上半身運動	高橋瑞枝 谷合公江 川上和恵	4	8
11月10日	第27回 わいわいデイルーム	手づくり講座(巾着づくり) *トライやるウィークの生徒と共に	後藤あけみ	4	7
11月17日	第28回 わいわいデイルーム	俳画	入江徹	4	7
11月24日	第29回 わいわいデイルーム	健康講座 (足ぶみ体操、認知症の話など)	高橋瑞枝	5	6
12月1日	第30回 わいわいデイルーム	手づくりクラフト (クリスマスツリー)	後藤あけみ	4	5
12月8日	第31回 わいわいデイルーム	手づくり講座 (サンタの箸袋、クリスマスカード)	徳岡和美	4	6
12月15日	第32回 わいわいデイルーム	ハンドベル	川上和恵	4	6
12月22日	第33回 わいわいデイルーム	クリスマス会	高橋瑞枝	4	7

1月12日	第34回 わいわいデイルーム	知恵の輪づくり	青柳 正	3	6
1月19日	第35回 わいわいデイルーム	カロムゲーム	川上和恵	3	5
1月26日	第36回 わいわいデイルーム	健康講座（健康体操など）	高橋瑞枝	3	5
2月2日	第37回 わいわいデイルーム	手づくり講座（帽子づくり） * トライヤルウィークの生徒と共に	後藤あけみ	3	7
2月9日	第38回 わいわいデイルーム	わいわい科学クラブ （シューツ棒）	海妻彦之 井上みち子	4	7
2月16日	第39回 わいわいデイルーム	俳画	入江徹	4	7
2月23日	第40回 わいわいデイルーム	健康講座 （脳トレプリント、音楽体操）	高橋瑞枝 谷合公江	4	8
3月1日	第41回 わいわいデイルーム	手づくり講座（マフラーづくり）	後藤あけみ	4	5
3月8日	第42回 わいわいデイルーム	知恵の輪づくり	青柳正	4	6
3月15日	第43回 わいわいデイルーム	トランプゲーム	高原佐美	3	5
3月22日	第44回 わいわいデイルーム	健康講座（談話など）	高橋瑞枝 谷合公江	4	7
3月29日	第45回 わいわいデイルーム	手づくり講座 （折り紙を使った季節の工作）	徳岡和美	4	5
延参加人数（全45回）				199	259

## わいわい亭

代 表 三浦啓子  
メンバー 7人

### ● 活動方針・目標

在宅生活を送る高齢者に、栄養ある食事と楽しく過ごせる居場所を提供し、住み慣れた地域で豊かな暮らしを長く続けられるようにサポートする。

### ● 活動報告

食事は9月に台風の影響で休会になった以外は、月1～2回のペースで水曜日に神戸YWCA分室にて実施。新しいメンバーを迎え、登録者は15人を超えた。毎回10人近くの参加があり、盛会だった。いつも分室の厨房を挟んで、2テーブルに分かれて食事をする。それぞれのグループにボランティアが加わり、至近距離でひとりひとりとふれあい、参加者に楽しい時間を提供できるよう奮闘している。来年度も引き続き活動していきたいが、大切な役割を担っているボランティアの確保が急務である。

歌の会は、ほぼ月1回木曜日の午後に実施された。会の発足の目的であった食事会からのメンバーの参加が少ないので、来年度は原点に戻って、運営について検討していきたい。分室の木曜カフェの時間に歌っているので、何か相乗効果が得られないかと期待もしている。

### ● 活動実績

開催日	ミーティング (場所は全て神戸YWCA分室)	主な議事内容など	参加 人数	延参加人数 (全回数)	平均参加 人数
4月22日	第1回ミーティング	活動報告と課題の検討 翌月の予定	3	30 (全9回)	3
6月24日	第2回ミーティング	活動報告と課題の検討 翌月の予定	3		
7月22日	第3回ミーティング	活動報告と課題の検討 翌月の予定	3		
9月17日	第4回ミーティング	活動報告と課題の検討 翌月の予定	2		
11月25日	第5回ミーティング	活動報告と課題の検討 翌月の予定	4		
12月9日	第6回ミーティング	活動報告と課題の検討 翌月の予定	4		
1月27日	第7回ミーティング	活動報告と課題の検討 翌月の予定	5		
2月24日	第8回ミーティング	活動報告と課題の検討 翌月の予定	3		
3月23日	第9回ミーティング	活動報告と課題の検討 翌月の予定	3		

開催日	プログラム・イベント名 (場所は全て神戸YWCA分室)	テーマ・主な内容	参加人数	
			利用者	ボランティア
4月8日	第1回わいわい亭	食事会と交流	8	4
4月22日	第2回わいわい亭	食事会と交流	11	5
5月13日	第3回わいわい亭	食事会と交流	6	3
5月27日	第4回わいわい亭	食事会と交流	11	3
6月10日	第5回わいわい亭	食事会と交流	9	3
6月24日	第6回わいわい亭	食事会と交流	9	4
7月8日	第7回わいわい亭	食事会と交流	9	3
7月22日	第8回わいわい亭	食事会と交流	9	4
8月26日	第9回わいわい亭	食事会と交流	11	4
10月14日	第10回わいわい亭	食事会と交流	11	4
10月28日	第11回わいわい亭	食事会と交流	12	4
11月11日	第12回わいわい亭	食事会と交流	10	4
11月25日	第13回わいわい亭	食事会と交流	10	4
12月9日	第14回わいわい亭	食事会とクリスマス会	11	5
1月13日	第15回わいわい亭	食事会と交流	13	3
1月27日	第16回わいわい亭	食事会と交流	11	5
2月10日	第17回わいわい亭	食事会と交流	12	4
2月24日	第18回わいわい亭	食事会と交流	13	4
3月9日	第19回わいわい亭	食事会と交流	9	5
3月23日	第20回わいわい亭	食事会と交流	11	4
延参加人数(全20回)			206	79

開催日	プログラム・イベント名 (場所は全て神戸YWCA分室)	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数
4月16日	第1回歌の会	歌集に合わせて新旧の曲を織り交ぜて歌う会	橋本静子	9
5月21日	第2回歌の会	歌集に合わせて新旧の曲を織り交ぜて歌う会	橋本静子	7
6月18日	第3回歌の会	歌集に合わせて新旧の曲を織り交ぜて歌う会	橋本静子	7
9月17日	第4回歌の会	歌集に合わせて新旧の曲を織り交ぜて歌う会	橋本静子	7
10月15日	第5回歌の会	歌集に合わせて新旧の曲を織り交ぜて歌う会	橋本静子	6
11月19日	第6回歌の会	歌集に合わせて新旧の曲を織り交ぜて歌う会	橋本静子	6
1月21日	第7回歌の会	歌集に合わせて新旧の曲を織り交ぜて歌う会	橋本静子	6
2月18日	第8回歌の会	歌集に合わせて新旧の曲を織り交ぜて歌う会	橋本静子	6
延参加人数(全8回)				54

## 弓の木歌の集い

代表 橋本静子  
メンバー 2人

### ● 活動方針・目標

高齢者の引きこもりを防ぎ、歌を楽しみ親睦をはかる。



## ● 活動報告

弓木南市営住宅を会場に毎月第3水曜日の午後2時から4時までの2時間、欠けることなく行なった。場所、歌集、キーボード、茶菓等の準備は全て市住側で行い、神戸YWCAからは原則2人が出向して行なっている。歌集からリクエストされる歌をキーボードで伴奏し皆で歌い、時にそこから話題が発展することもある。メンバーは市住の住居者と、関係者に限られているが、ここ数年定着し、それが良好な状態で続いている理由でもあり、限界でもあると思う。市住側、YWCA側の状況が変わらなければ来年度も同じ形態で続けられると思う。

## ● 活動実績

開催日	プログラム・イベント名 (場所)	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数
4月15日	弓の木歌の集い	歌と親睦	橋本静子・三島孝子	8
5月20日	弓の木歌の集い	歌と親睦	橋本静子・三島孝子	6
6月17日	弓の木歌の集い	歌と親睦	橋本静子・三島孝子	8
7月15日	弓の木歌の集い	歌と親睦	橋本静子・三島孝子	8
8月19日	弓の木歌の集い	歌と親睦	橋本静子・三島孝子	7
9月16日	弓の木歌の集い	歌と親睦	橋本静子・三島孝子	8
10月21日	弓の木歌の集い	歌と親睦	橋本静子・大工原則子	9
11月18日	弓の木歌の集い	歌と親睦	橋本静子・三島孝子	8
12月16日	弓の木歌の集い	歌と親睦	橋本静子・大工原則子	7
1月22日	弓の木歌の集い	歌と親睦	橋本静子・三島孝子	8
2月17日	弓の木歌の集い	歌と親睦	橋本静子・三島孝子	7
3月16日	弓の木歌の集い	歌と親睦	橋本静子・三島孝子	8
延参加人数 (全12プログラム)				92

## ちやいやあらんど

代表 宮田泰子  
メンバー 6人

## ● 活動方針・目標

- ・子育て中の家族支援、特に就学前の子供を持つ母親の仲間作り、リラックスできる場所づくりを支援する。
- ・参加者とともに親と子どもが楽しく集える場を作る。
- ・文化や言葉を超えて「ママの日本語」グループと合同で活動を行ないたい。

## ● 活動報告

2015年度は分室において活動日を主に第1・3水曜日とし、月1回または2回のペースで開催。0歳児から3歳児、また、午後にはきょうだいである幼稚園児が加わり、幅広い年齢の子どもと母親が参加しにぎわった。今年度は乳児が多かったため通常オープンの日が多く、お母さんたちはゆったり会話を楽しむことができた。子どもたちの楽しみとして今年も4月に親子のためのゴスペルコンサートを本館チャペルで開催、ちやいやあらんどOBの親子やその友人も加わり楽しい時を過ごした。また、夏には分室横のガレージでビニールプールでの水遊びを楽しんだ。今年はお母さんたちが中心になってプログラムの計画から準備・実施までを行い、ハロウィンや秋祭りを開催、地域の多くの人々と交流することができた。

今年のちやいやあらんどは、お母さんたちの自主的な活動によって、無理せずみんなで協力し子育てを楽しみながら運営されている。分室の木曜カフェなどちやいやあらんど活動日以外の神戸YWCA分室の活動への参加も見られ、分室の幅広い年代の人々と出会う機会となり、新たな広がりを感じている。

今年度開催できなかった「ママの日本語」とのコラボや「作ろう会」「社会につながる」などへの取り組みは次年度にはぜひ考えていきたい。女性の生き方やストレスのない育児について今後も参加者と話し合いながら、ちやいやあらんどの活動を考えていきたいと願っている。

## ● 活動実績

開催日	プログラム・イベント名 (場所)	テーマ・主な内容	参加人数				総計
			大人	乳幼児	参加者	ボランティア	
4月15日	ミーティング・作業	新年度準備のための作業	1	2		3	6
10月20日	ミーティング・作業	ハロウィン準備作業	5	9		1	15

10月28日	ミーティング・作業	ハロウィン準備作業				0	0
延参加人数（全3ミーティング）			6	11	0	4	21

平常プログラム

開催日	プログラム・イベント名 (付記以外、場所は全て神戸YWCA分室)	テーマ・主な内容	参加人数				総計
			大人	乳幼児	参加者	ボランティア	
5月20日	第1回ちやいやあらんど	おしゃべりママの会	6	7	1	4	18
6月3日	第2回ちやいやあらんど	おしゃべりママの会	3	4	1	4	12
6月17日	第3回ちやいやあらんど	おしゃべりママの会	5	6	1	4	16
7月1日	第4回ちやいやあらんど	浴衣の着付け講習会、お茶会（お抹茶）	4	7	1	4	16
7月15日	第5回ちやいやあらんど	おしゃべりママの会	4	6	1	4	15
7月29日	第6回ちやいやあらんど	プール遊び	5	8		2	15
8月19日	第7回ちやいやあらんど	おしゃべりママの会	5	8	1	3	17
8月27日	第8回ちやいやあらんど	おしゃべりママの会	6	11	1	3	21
9月16日	第9回ちやいやあらんど	おしゃべりママの会	5	8	1	3	17
9月30日	第10回 ちやいやあらんど	おしゃべりママの会	5	8	1	2	16
10月7日	第11回 ちやいやあらんど	おしゃべりママの会	5	7		3	15
10月21日	第12回 ちやいやあらんど	おしゃべりママの会	4	7		2	13
11月18日	第13回 ちやいやあらんど	おしゃべりママの会	4	5		2	11
12月2日	第14回 ちやいやあらんど	おしゃべりママの会	6	7		3	16
12月16日	第15回 ちやいやあらんど	クリスマス会、手作りおやつ	5	9	1	3	18
1月20日	第16回 ちやいやあらんど	新年会（おぜんざい）	7	12		3	22
2月3日	第17回 ちやいやあらんど	節分（新聞紙のボールで豆まき）、二宮神社の豆まき	6	10		3	19
2月17日	第18回 ちやいやあらんど	おしゃべりママの会	5	10		5	20
3月2日	第19回 ちやいやあらんど	森の保育園の学び・園芸（講師：中井裕之）	6	10	1	7	24
3月16日	第20回 ちやいやあらんど	イースターエッグづくり および卵探し	4	7		4	15
3月30日	第21回 ちやいやあらんど	おしゃべりママの会	4	9		3	16
延参加人数（全21プログラム）			104	166	11	71	352

特別プログラム（一般対象）

開催日	プログラム・イベント名 (付記以外、場所は全て神戸YWCA分室)	テーマ・主な内容	参加人数				総計
			大人	乳幼児	参加者	ボランティア	
4月1日	ゴスペルコンサート（神戸YWCA本館）	ハグハグマミーゴ	14	23	10	6	53
10月31日	ハロウィン		15	17	5	2	39
11月29日	秋祭り（遊びとバザー）		25	25		2	52
延参加人数（全3プログラム）			54	65	15	10	144

## 夜回り準備会

代表 鍋谷美子  
メンバー 11人

### ● 活動方針・目標

基本的には従来通り「野宿したくない人がしなくて済むように、野宿している人の人権が損なわれないように」だが、状況としては、野宿する人の人数は全国的にも、全市的にも、灘区・東灘区においても減少し続け、相談も減っており、目に見える形でできることは少なくなってきた。

他方、一時学生だったメンバーが卒業するなどして減ったため、募集をどうするか悩んだ時期もあったが、最近新しいメンバーが増えているので、募集活動の必要性は少なくなった。ただ、ドライバーやリーダー不足は続いている。

どこの夜回りも、実際に野宿している人との出会いは減っているが、労働条件など、人が野宿に追いやられる根本的な貧困の問題は解決するどころか、悪化する一方であるように思われる。そのことにどう取り組むかが、新しい課題になりつつある。

## ● 活動報告

土曜の月2回の夜回り（灘区、東灘区）と、1回のミーティングはなんとか継続している。毎週木曜の病院訪問は、メンバーの仕事の都合や体調不良で、年末から休止している。夜回りは、保護受給中の人を訪問なくなり、前年から1人減って2015年末で2人を訪問している。毎回3～4人のメンバーで、ドライバーはぎりぎりだが、助け合ってまわっている。訪問する先の2人の生活状況は大きく変わってはいない。

越年活動には、例年参加している中心メンバーが体調不良で参加できず、不安の炊き出しとなった。しかしYWCAの会員・職員や、いろいろな団体の人の協力もあり、事故なく終えることができた。

現状、新しい課題に取り組むというようなことは難しかったが、活動を維持しながら、メンバー同士で気になっている社会のことを少しずつ話したりする雰囲気はあったように思う。また、越年の場で起こったセクシャルハラスメントについての話し合い、研修への参加など積極的に行なった。

## ● 活動実績

開催日	プログラム・イベント名（場所）	テーマ・主な内容	夜回り先件数 （ ）は出会った人数	参加人数
3月14日	第1回 夜回り（分室）	灘、東灘地域で野宿生活をしている人の訪問活動。その人が望むようなかたちで暮らすことの手伝いをしたいと考えている。	4 (3)	4
3月28日	第2回 夜回り（分室）	〃	3 (3)	5
4月11日	第3回 夜回り（分室）	〃	4 (4)	3
4月25日	第4回 夜回り（分室）	〃	4 (3)	5
5月9日	第5回 夜回り（分室）	〃	4 (3)	5
5月23日	第6回 夜回り（分室）	〃	4 (3)	3
6月13日	第7回 夜回り（分室）	〃	3 (3)	4
6月27日	第8回 夜回り（分室）	〃	3 (3)	3
7月17日	第9回 夜回り（分室）	〃	3 (3)	4
7月25日	第10回 夜回り（分室）	〃	3 (3)	3
8月8日	第11回 夜回り（分室）	〃	3 (3)	2
8月22日	第12回 夜回り（分室）	〃	4 (4)	3
9月12日	第13回 夜回り（分室）	〃	4 (4)	4
9月26日	第14回 夜回り（分室）	〃	4 (3)	3
10月10日	第15回 夜回り（分室）	〃	4 (4)	4
10月24日	第16回 夜回り（分室）	〃	4 (3)	3
11月14日	第17回 夜回り（分室）	〃	4 (2)	4
11月28日	第18回 夜回り（分室）	〃	2 (2)	4
12月12日	第19回 夜回り（分室）	〃	2 (2)	3
12月24日	第20回 夜回り（分室）	〃	2 (2)	3
1月9日	第21回 夜回り（分室）	〃	2 (2)	3
1月25日	第22回 夜回り（分室）	〃	2 (2)	3
2月13日	第23回 夜回り（分室）	〃	3 (2)	3
2月27日	第24回 夜回り（分室）	〃	3 (2)	4
3月12日	第25回 夜回り（分室）	〃	6 (4)	4
3月26日	第26回 夜回り（分室）	〃	6 (4)	3
延参加人数（全26プログラム）			90 (76)	92

開催日	プログラム・イベント名 (場所)	テーマ・主な内容	訪問先件数 ( ) は出会った人数	参加 人数
3月28日	第1回 病院訪問 (各病院)	退院してのち帰る家のない人を訪問し、治療の専念やその後の暮らしにつながるように手伝えることをする。	2 (1)	2
4月2日	第2回 病院訪問 (各病院)	〃	2 (1)	2
4月9日	第3回 病院訪問 (各病院)	〃	2 (2)	2
4月16日	第4回 病院訪問 (各病院)	〃	2 (1)	2
4月23日	第5回 病院訪問 (各病院)	〃	2 (1)	2
4月30日	第6回 病院訪問 (各病院)	〃	2 (1)	2
5月7日	第7回 病院訪問 (各病院)	〃	2 (1)	1
5月14日	第8回 病院訪問 (各病院)	〃	2 (1)	1
5月21日	第9回 病院訪問 (各病院)	〃	2 (1)	1
5月28日	第10回 病院訪問 (各病院)	〃	2 (1)	2
6月4日	第11回 病院訪問 (各病院)	〃	2 (1)	1
6月11日	第12回 病院訪問 (各病院)	〃	2 (1)	1
6月18日	第13回 病院訪問 (各病院)	〃	2 (1)	1
6月25日	第14回 病院訪問 (各病院)	〃	2 (1)	1
7月2日	第15回 病院訪問 (各病院)	〃	2 (1)	1
7月9日	第16回 病院訪問 (各病院)	〃	2 (1)	2
7月16日	第17回 病院訪問 (各病院)	〃	2 (1)	2
7月23日	第18回 病院訪問 (各病院)	〃	2 (1)	2
7月30日	第19回 病院訪問 (各病院)	〃	2 (1)	1
8月6日	第20回 病院訪問 (各病院)	〃	2 (1)	1
8月13日	第21回 病院訪問 (各病院)	〃	2 (2)	1
8月20日	第22回 病院訪問 (各病院)	〃	2 (1)	1
8月27日	第23回 病院訪問 (各病院)	〃	2 (1)	1
9月3日	第24回 病院訪問 (各病院)	〃	2 (1)	1
9月10日	第25回 病院訪問 (各病院)	〃	2 (1)	1
9月17日	第26回 病院訪問 (各病院)	〃	2 (1)	1
9月24日	第27回 病院訪問 (各病院)	〃	2 (2)	1
10月1日	第28回 病院訪問 (各病院)	〃	2 (1)	1
10月8日	第29回 病院訪問 (各病院)	〃	2 (1)	1
10月15日	第30回 病院訪問 (各病院)	〃	2 (1)	1
10月22日	第31回 病院訪問 (各病院)	〃	2 (1)	1
10月29日	第32回 病院訪問 (各病院)	〃	2 (2)	1
11月5日	第33回 病院訪問 (各病院)	〃	2 (1)	1
11月12日	第34回 病院訪問 (各病院)	〃	2 (1)	1
11月19日	第35回 病院訪問 (各病院)	〃	2 (1)	1
11月26日	第36回 病院訪問 (各病院)	〃	2 (1)	1
12月3日	第37回 病院訪問 (各病院)	〃	2 (1)	1
延参加人数 (全 37 プログラム)			74 (41)	47

\*12/3以降は、参加者体調不良のため休止。

## 声の奉仕

代表 安藤時子、松本裕子  
メンバー 14人

### ● 活動方針・目標

・視覚障がい者のための朗読奉仕活動を行なう。技術向上のため月2回講師による朗読の学習、指導を受け、所属している兵庫県声の図書赤十字奉仕団を通じ、各種図書の録音・編集・デジタル化などしたものをリスナーに発送。

### ● 活動報告

毎月第2・第4火曜日に例会を持ち、永田俊子講師のご指導のもと朗読の学習を行なっている。

兵庫県声の図書赤十字奉仕団が製作する声の月刊誌「花時計」9月号、2月号、季刊誌「つちのこ」春、秋号の製作を担当。毎月「PHP」担当箇所の朗読・録音および4月、11月号の編集作業、「日赤声のアルバム」発行CD製作とモニターを毎月行なっている。日赤での運営委員会、デイジー図書ミーティングなどに参加。録音、編集などの作業にも携わった。

2015年5月に、日赤のテープダビング機が故障。修理・買替えができないため、テープリスナー53人にデイジーへの移行をお願いした。結果、2015年7月時点で31人のリスナーさんが移行、計198人にデイジーを発送した。

毎年恒例の利用者との交流会を11月23日に実施。リスナー、同行者、団員など161人参加。リスナーからの指摘で、他グループ製作編集のものに録音ミスがあることがわかった。神戸YWCA声の奉仕グループは早めに製作し、グループ内でのモニターチェックを今まで以上に徹底することを確認した。

### ● 活動実績

開催日	プログラム・イベント名 (付記以外、場所は全て神戸YWCA)	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数
4月5日	日赤運営委員会（日赤）			3
4月13日	声の図書作成（日赤）			2
4月14日	第1回 定例会	学習、日赤総会の件	永田俊子	14
4月18日	声の図書赤十字奉仕団総会（日赤）			13
4月27日	「PHP」（日赤）	デイジー化		2
4月28日	第2回定例会	花時計9月号企画	永田俊子	6
5月12日	第3回 定例会	学習、花時計9月号企画、名簿チェック	永田俊子	12
5月22日	「つちのこ」秋号（日赤）	企画編集		6
5月26日	第4回 定例会	学習	永田俊子	13
6月7日	日赤運営委員会（日赤）			3
6月9日	第5回 定例会	学習	永田俊子	11
6月15日	「声の図書」（日赤）	作成		2
6月23日	第6回 定例会	学習	永田俊子	14
6月24日	つちのこ秋号（日赤）	編集録音		6
7月1日	「花時計」	収録		3
7月5日	日赤臨時運営委員会（日赤）	テープダビング機故障 および今後について		3
7月8日	「花時計」（日赤）	収録		2
7月14日	第7回 定例会	学習	永田俊子	14
7月16日	「PHP」「花時計」	校正		3
7月24日	「つちのこ秋号」（日赤）	録音校正		6
7月28日	第8回 定例会	学習	永田俊子	15
7月30日	「花時計」（日赤）	収録		2
8月7日	「つちのこ秋号」（日赤）	録音校正		6
8月10日	「声の図書」（日赤）	作成		2

8月17日	「花時計」(日赤)	編集		2
8月26日	「花時計」(日赤)	編集		2
9月8日	第9回 定例会	学習	永田俊子	13
9月15日	[つちのこ秋号](日赤)	編集		
9月25日	「つちのこ秋号」(日赤)	校正		6
9月29日	第10回 定例会	学習	永田俊子	13
10月12日	「声の図書」(日赤)	作成		2
10月13日	第11回 定例会	学習	永田俊子	13
10月27日	第12回 定例会	学習	永田俊子	13
11月2日	「PHP」(日赤)	デイジー化		2
11月10日	第13回定例会	学習	永田健支	12
11月16日	「声の図書」(日赤)	作成		3
11月20日	つちのこ春号(日赤)	企画		6
11月23日	交流会(日赤)	リスナーとの交流会		13
11月24日	第14回 定例会	学習、交流会連絡事項	永田健支	10
12月8日	第15回定例会	学習	永田健支	2
1月12日	花時計2月号	録音校正		3
1月15日	つちのこ春号	録音校正		4
1月18日	花時計2月号	録音校正		4
1月19日	花時計2月号	ナレーション録音校正		3
1月22日	花時計2月号	録音校正		2
1月26日	第16回定例会	学習		13
2月3日	つちのこ春号	録音校正		4
2月7日	つちのこ春号	録音校正		2
2月7日	第17回定例会	学習		14
2月23日	第18回定例会	学習		13
3月4日	つちのこ春号	録音校正		4
3月8日	第19回定例会	学習		14
3月11日	つちのこ春号	訂正録音		3
3月22日	第20回定例会	学習		12
延参加人数(全54回)				355

その他、①PHP担当箇所の録音/2人/毎月/②担当ミーティング(デイジー班、点字班、単行図書検討会、朗読・音訳を見直す会、交流会準備会、本部役員会などに1～3人/③朗読勉強会、校正勉強会に各回3～5人参加④毎月声のアルバムの編集作業に2～3人参加)\*場所は日赤

## カフェもぐもぐ

代表 宮田泰子  
メンバー 4人

### ● 活動方針・目標

- ・若年性認知症の人や家族、仲間たちがほっとしてつながる場となる。
- ・若年性認知症の人が、集い、生きがいをもって働くことのできる場をつくる。
- ・若年性認知症についての勉強会や啓発活動をおこなう。

## ● 活動報告

「カフェもぐもぐ」は、若年性認知症当事者の「悩みを共有できる人たちに出会い、集う場がほしい」「認知症になっても生きがいをもって、安心して、楽しく豊かに過ごしたい」という声から、2015年9月神戸YWCA地域福祉部を母体にスタートした。活動を始めるにあたり、兵庫県社会福祉協議会ひょうご若年性認知症生活支援センターや神戸市社会福祉協議会こうべ認知症生活相談センター等の担当者の支援と協力を、すでに活動の先輩である若年性認知症の家族の会やいろいろなチームの取り組みを学ぶ機会をいただいた。7月から2回の学びと話し合いの時を持ち、9月より毎月第4木曜日、午後1時から3時まで分室において活動がもたれた。参加者はお茶を飲みながら、「カフェもぐもぐ」をどのようなところにしたいか、私たちに何ができるかと夢を語りあい、話し合いながら試行錯誤の半年だった。

1月には啓発と仲間を増やしたいと認知症サポーターキャラバンメイトを講師に認知症サポーター養成講座を開催した。今はまだまだ手探りの段階だが、「仲間作りをしたい、仕事に対する不安、伝えたいことを語りたい、情報がほしい」を考える場として、当事者の想いを大切にしながら、“本人や家族、仲間たちがほっとしてつながる場”を、みんなで作っていききたいと願っている。

将来的には、それぞれのできることを生かした活動も創っていききたい。また個別相談があれば、専門職につながりこともできる。若年性認知症についての勉強会や啓発活動もしていきたいと考えている。

## ● 活動実績

開催日	プログラム・イベント名 (場所)	テーマ・主な内容	参加人数				
			当事者	当事者 家族	ボラン ティア	他団体 等	職員
7月16日	立ち上げ準備ミーティング (神戸YWCA分室)	ミーティング	1	0	6	4	2
8月20日	立ち上げ準備ミーティング (神戸YWCA分室)	ミーティング	1	0	6	3	2
9月2日	ひょうご若年性認知症当事者 グループ (神戸市勤労会館)	他団体関係・外部研修	1	0	2		1
9月5日	若年性認知症家族介護者連絡会・当事者 グループ準備会 (兵庫県福祉センター)	他団体関係・外部研修	0	0	2		
9月24日	第1回カフェもぐもぐ (神戸YWCA分室)	カフェ	1	0	3	4	2
10月8日	「認知症カフェここあん」訪問 (養父市)	外出プログラム	1		3		
10月22日	第2回カフェもぐもぐ (神戸YWCA分室)	カフェ	3	1	3	5	1
11月11日	若年性認知症家族介護者連絡会 (兵庫県福祉センター)	他団体関係・外部研修	0	0	1		
11月28日	第3回カフェもぐもぐ (神戸YWCA分室)	カフェ	2	1	4	3	2
12月10日	第4回カフェもぐもぐ (神戸YWCA分室)	カフェ	2	0	3	2	2
1月14日	認知症サポーター養成講座 (神戸YWCA分室)	研修	0	0	3	14	2
1月21日	次年度の計画について (神戸YWCA分室)	ミーティング	0	0	2	0	2
1月23日	若年性認知症支援担当者研修 (兵庫県福祉センター)	他団体関係・外部研修	0	0	2		
1月28日	第5回カフェもぐもぐ (神戸YWCA分室)	カフェ	2	0	6	2	1
2月10日	若年性認知症家族介護者連絡会 (兵庫県福祉センター)	他団体関係・外部研修	0	0	1		
2月25日	第6回カフェもぐもぐ (神戸YWCA分室)	カフェ	2	0	5	2	2
2月25日	次年度の計画について (神戸YWCA分室)	ミーティング	0	0	3	0	2
3月24日	第7回カフェもぐもぐ (神戸YWCA分室)	カフェ	2	0	4	2	2
3月17日	製作品の試作 (神戸YWCA分室)	ミーティングと作業	1	0	3	0	0
3月24日	今年度の振り返りと次年度の準備 について (神戸YWCA分室)	ミーティング	0	0	2	0	2
延参加人数 (全19回)			19	2	64	41	25

## 神戸 YWCA まごの手

所 長 松田恵美子

### <居宅介護事業所>

居宅介護支援事業所管理者 松田恵美子  
ケアマネジャー 猪熊まゆみ（11月退職）、福嶋佳子、松田恵美子、島村正（非常勤）

### <訪問介護事業所>

訪問介護事業所管理者 寺内真子  
サービス提供責任者 五十嵐英子、谷口真弓、林和美、藤原道子（産後コーディネーター）、真城賢順（8月退職）、山下さおり、吉田里子、横山美智子

事務補助 塩見洋子・島村正  
登録ヘルパー 40人（2016年3月現在）

### <居宅介護支援事業所>

#### ● 事業方針・目標

- ・誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指して活動する。高齢になっても障がいになっても地域で自分らしく自立した生活ができるよう自立支援に向けたケアマネジメントをする。
- ・資質向上に努める。
- ・神戸YWCAの地域活動「わいわいデイサービス」「わいわいランチ」「夜回り」などと連携して地域支援事業に向けて活動する。
- ・地域包括支援センターと連携して活動する。
- ・介護、医療、多職種と連携して活動する。

#### ● 事業報告

在宅で自立した生活が送れるよう支援する。ケアマネジャーは常勤3人だったが、1人急病で退職。その後、2人で対応。事業所加算 III を取っていたが12月より加算なし。8月にケアプランチェックが入り、書類提出、指導でケアマネジメントの見直しの機会になった。研修では、介護支援専門員協会の更新研修や中央区のケアマネジャー連絡会、医師会との研修、地域ケア会議などに参加してスキルアップをはかった。神戸YWCA分室の活動「わいわいランチ」「わいわいダイルーム」などと連携を取った。今後、医療など多職種との連携がますます必要になってくる。

### <訪問介護事業所>

#### ● 方針・目標

- ・誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指して活動する。高齢になっても障がいになっても自分らしく自立した生活ができるように、生活支援サービス、介護サービス、障がいサービス、産後ヘルプサービス、ほっとヘルプ（認知症ケア見守り）サービス等で支援していく。
- ・質の高いサービスを提供できるよう職員の質の向上に努める。
- ・介護支援専門員との連携を密に多職種との連携にも努める。

#### ● 事業報告

訪問介護事業所では介護保険、障がい（ガイドヘルプ、居宅支援、同行援護）、産後、ほっとヘルプ、保険外“はあと”、と多様性のあるサービスを提供している。サービス提供責任者6人・登録ヘルパー約40人が活動しているが高齢化している。事業所加算 II（サービス提供責任者の配置、研修の充実など）の体制を取っている。研修は、事例検討会や市民救命士、調理実習、口腔ケア研修、排泄研修、認知症研修、ホスピス研修など毎月開催し、また神戸市介護サービス協会の研修など積極的に受講し、職員、ヘルパーのレベルアップに努めた。職員の資質向上のため処遇改善給付金が国から支給され、職員、ヘルパーの賃金に給付した。2017年度、「要支援」の利用者が地域支援事業に移行することに対して、ひょうごん福祉ネット（制度外サービス）の団体と連携を取り、検討、勉強会を行なった。地域支援事業の動きを見据えながら、まごの手を地域にどのように発信していくかが課題である。

#### ● まごの手事務会・活動プログラム

集会名	在籍数	回数	延出席人数	平均数
事務会	10	12	96	8
2016年度ヘルパー登録説明会・研修会	45	2	56	28
ヘルパー交流会	45	1	20	20



## ● 活動データ

### 訪問介護サービス事業所

サービス種類		2013年度月平均	2014年度月平均	2015年度月平均	
居宅	居宅介護支援	件数	58.9	59.7	59.4
	介護予防支援（委託）	件数	32.4	32.6	32.3
	件数 計		91.3	92.3	91.7
訪問	介護保険（介護給付）	利用時間数	1020.6	969.5	815.9
		利用者数	63.2	63.9	57.6
	介護保険（予防給付）	利用時間数	547.5	545.0	514
		利用者数	83.9	83.8	80.9
	介護保険外	利用時間数	242.8	222.6	182.8
		利用者数	36.9	38.8	32.5
	障害福祉サービス（居宅介護）	利用時間数	199.3	202.2	210.9
		利用者数	18.8	18.2	18.7
	障害福祉サービス（同行援護）	利用時間数	89.7	94.1	49.9
		利用者数	8.1	8.4	5
	障害福祉サービス（移動支援）	利用時間数	61.2	46.9	41.7
		利用者数	6.1	5.3	5.6
	産後ヘルプサービス（神戸市委託）	利用時間数	45.5	64.3	54.8
		利用者数	8.2	9.8	9.8
	養育ヘルパー（神戸市委託）	利用時間数	0.0	4.0	1.7
		利用者数	0.0	0.3	0.3
	ほっとヘルパー（神戸市委託）	利用時間数	56.6	79.0	62.3
		利用者数	4.8	6.6	5.2
	利用時間数計		2263.1	2228.3	1934
	利用者数（延べ）計		230.0	235.1	215.5

### ● 研修 / 他団体関係（居宅介護支援事業所）

内容	主催	参加人数
高齢障害者ケアマネジメントに係る研修会	障害福祉課	2
中央区訪問介護事業所とケアマネジャーとの連絡会	中央区あんしんすこやかセンター	1
要支援者の生活を誰が支えていくのか？	神戸市介護サービス協会	1
主任ケアマネネットワーク連絡会	神戸市ケアマネージャ連絡会	1
訪問介護・通所介護研修会	神戸市シルバーサービス連絡会	1
中央区ケアマネジャー連絡会	中央区健康福祉課	2
神戸市若年性認知症支援研修会	神戸市社会福祉協議会	1
宮本地区地域ケア会議	新神戸あんしんすこやかセンター	1
中央区医師会・神戸市ケアマネジャー連絡会	中央区歯科医師会	2
在宅ホスピスと医療 関本先生	神戸YWCA	2
在宅ホスピスケアの実際と支援の方法 松本先生	神戸YWCA	2
港島・三宮あんすこ合同研修	中央区あんしんすこやかセンター	1
地域ケア会議	新神戸あんしんすこやかセンター	1
マイナンバー準備のポイント	神戸市シルバーサービス連絡会	1
予防給付ケアマネジメント従事者現任者研修	神戸市介護保険課	2

介護保険集団指導	神戸市介護保険課	1
高齢者虐待・認知症・倫理についての研修会	神戸市シルバーサービス連絡会	2

## ● 研修 / 他団体関係（訪問介護事業所）

内容	主催	出席席者数
中央区訪問介護事業所とケアマネジャーとの連絡会	中央区あんしんすこやかセンター	1
神戸市の実地指導について	神戸市シルバーサービス連絡会	1
市民救命士講習	まごの手	16
中央区訪問介護事業所連絡会	中央区あんしんすこやかセンター	1
中央区地域ケアネット連絡会議	中央区保険福祉部	1
神戸東部精神障害者包括 サポートネットワーク会議	こうちクリニック	1
ヘルパー研修（感染症）	まごの手	2
神戸市シルバーサービス定期総会・講演会	神戸市シルバーサービス連絡会	1
ヘルパー研修（若年性アルツハイマー研修）	まごの手	21
調理実習	まごの手	10
介護実習	まごの手	7
ヘルパー研修事例検討会	まごの手	9
徘徊ドキュメント映画 & 交流会	ひょうごん福祉ネット	13
中央区訪問介護事業所連絡会	中央区あんしんすこやかセンター	1
認知症と口腔ケア	神戸 YWCA	14
食から始まるたちつと（金香百合さん）	神戸 YWCA	18
認知症になっても通える居場所作り研修	ひょうごん福祉ネット	2
ひょうごん福祉ネット総会・交流会	ひょうごん福祉ネット	1
ひょうごん福祉ネット例会	ひょうごん福祉ネット	10
在宅ホスピスと医療 関本先生	神戸 YWCA	14
在宅ホスピスケアの実際と支援の方法 松本先生	神戸 YWCA	16
人として「食べられる幸せ」もう一度振り返りたい	神戸 YWCA	18
サービス提供責任者講習	介護労働安定センター	1
介護保険事業者説明会（集団指導）	神戸市保険福祉局	1
居宅介護・移動支援事業者説明会	神戸市保険福祉局	1
障がい事業者説明会（集団指導）	神戸市健康福祉局	1
認知症高齢者訪問支援員新任予定者研修	神戸市社会福祉協議会	1
ほっとヘルパー認知症重度者対応研修	神戸市社会福祉協議会	1
まごの手カフェ	まごの手	12

## IV . 生涯学習・人材育成事業

### ● 愛農人倶楽部

代表 大石知世子  
メンバー 2人

### ● 活動方針・目標

完全無農薬有機栽培の野菜作りを通して、土に触れ、自然を知り、収穫した野菜を食べることによって、いのちの大切さを知る。また、協働で作業することにより、人との交流を楽しむ。

- ・ 定例会として、毎月約1回、借り農園にて農作業を実施、季節の野菜を作り収穫する。
- ・ 丹波篠山にて黒豆栽培を体験する。
- ・ より活発な活動をめざし、メンバーをもっと増やす。

## ● 活動報告

今年度は神戸市道場の畑で定例会をすると共に、篠山市大山の畑で活動している時にお世話になった地域住民の方主催の丹波黒豆栽培に参加するプログラムを実施した。篠山の有名な地域野菜、黒豆「丹波黒」の栽培に参加することで、篠山の良さと黒豆の栽培行程を知り、黒豆栽培の大変さと収穫の楽しさを味わい、とても良い経験となった。ただ、作業回数が天候の関係で予定よりも増えてしまい、特に7～9月は道場の畑との両立が大変だった。

道場の畑では2区画を借りて農地が広くなり、農作業がすぐに終わることなく充実したものとなった。今年は鹿ヶ谷かぼちゃが大収穫だったので、分室のガレージショップに出すことができ、また収穫した黒豆の枝豆も本館で販売することができた。収穫物の販売は神戸YWCAに貢献でき、かつ愛農人倶楽部のアピールとなった。

## ● 活動実績

開催日	プログラム・イベント名 (場所)	テーマ・主な内容	参加人数
4月4日	第1回 定例会 (道場)	ジャガイモ残り植え付けと追肥、整地 カリフラワー、ズッキーニ 種まき	10
4月29日	第2回 定例会 (道場)	夏野菜の苗植付け：ピーマン、パプリカ、万願寺とうがらし、ナス、トマト、カボチャ、スイカ、トウモロコシ、オクラ	13
5月24日	第3回 定例会 (道場)	雑草抜き、追肥、マルチ、水やり 収穫：玉ねぎ (一部)、人参、いちご (一部)	8
6月14日	第4回 定例会 (道場)	さつまいも苗植付け、雑草取り、野菜の世話 収穫：万願寺とうがらし、玉葱、赤紫蘇	16
6月21日	黒豆栽培 (篠山)	丹波黒 (黒豆) 苗を植付け、肥料	12
7月5日	第5回 定例会 (道場)	じゃが芋収穫 収穫：夏野菜	9
7月11日	黒豆栽培 (篠山)	雑草抜きと土寄せ	6
7月19日	第6回 定例会 (道場)	雑草抜きと夏野菜の世話 収穫：夏野菜とズッキーニ	6
8月2日	黒豆栽培 (篠山)	雑草抜きと土寄せ、追肥	6
8月22日	第7回 定例会 (道場)	雑草抜きと夏野菜の世話 収穫：夏野菜	8
9月13日	イベント：収穫祭 (道場)	イベント：夏野菜カレーで収穫祭 大根種蒔き、白菜苗植付け 収穫：夏野菜	6
10月11日	黒豆収穫 (篠山)	収穫：黒豆枝豆	10
10月25日	イベント：収穫祭 (道場)	イベント：芋掘り収穫祭。 収穫物でカレーとさつまいもスイーツづくり 収穫：夏野菜、さつまいも、大根 (一部)	15
11月29日	農園主催餅つき大会 (道場)	収穫作業 収穫：大根 (一部)	6
12月13日	第8回 定例会 (道場)	大根抜き、整地 収穫：大根	3
1月11日	第9回 定例会 (道場)	イベント：大根を円形に並べて写真を撮ろう！ 大根長者ごっこ 収穫：大根	5
3月20日	第10回 定例会 (道場)	イベント：じゃが芋の種芋を切って植えてみよう！ じゃが芋植付け、整地、玉葱・エンドウ豆・苺・ カリフラワー類追肥、エンドウ豆支柱立て、 ハーブ類と二十日大根類種蒔き 収穫：大根、カリフラワーとカリブロッコリー	6
延参加人数 (全17プログラム)			145

## アフタヌーン・ティー



メンバー 郡あや子、大工原則子、湯口恵

## ● 活動方針・目標

- ・ 出会い交わりの場として学びの集いを行なう。

・平和、人権、多文化共生の社会などの課題を、キリスト教基盤にたつYWCAの目的、理念を具体的に表現し、社会変革の力になる。

## ● 活動報告

4月、7月、9月は、第1火曜日 13:30～16:00に本館チャペルで開催した。

4月は、日本基督教団 村山盛忠牧師より「中東世界からの視点」と題して『イスラム国』・『ユダヤ国』のディアスポラ（難民、離散者）についてお話を伺った。7月は、熊野勝之弁護士から「憲法前文から憲法九条を考える」について、政治にまどわされないよう一人一人が良く読み、判断することを教えられた。9月は、長尾ひろみさんから「日本の教育改革」について、4年間中教審委員として見た急速な教育改革を語っていただいた。12月アドベントのアフタヌーン・ティーとして予定していたプログラムは、残念ながら中止することとなった。3月早春のアフタヌーン・ティーは、原点に戻り今後に向けて交わりの会にした。おしゃべりしながらメンバーの指導により土瓶敷きを作った。

今年度はいろいろな事情で参加者が減ってきているのは少々残念に思った。

## ● 活動実績

開催日	ミーティング (場所)	主な議事内容など	参加人数	延参加人数 (全回数)	平均参加 人数
3月	ミーティングおよび作業 (神戸YWCA)	チラシ印刷 案内の発送	2	13	2
6月19日	ミーティングおよび作業 (神戸YWCA)	チラシ印刷 案内の発送	3		
8月	ミーティングおよび作業 (神戸YWCA)	チラシ印刷 案内の発送	2		
12月8日	ミーティングおよび作業 (神戸YWCA)	お世話になった先生方に クリスマスカードを出す	3		
2月8日	ミーティングおよび作業 (御影クラッセ)	プログラム内容と案内ハガキの打ち合わせ	3		

開催日	プログラム・イベント名 (場所)	テーマ・主な内容	講師名等	参加 人数
4月7日	4月のアフタヌーン・ティー (神戸YWCA)	中東世界からの視点 ～「イスラム国」・「ユダヤ国」の ディアスポラ（難民、離散者）～	村山盛忠 (日本基督教団牧師)	54
7月7日	7月のアフタヌーン・ティー (神戸YWCA)	憲法前文から憲法九条を考える	熊野勝之（弁護士）	35
9月8日	9月のアフタヌーン・ティー (神戸YWCA)	日本の教育改革 ～中教審委員長として4年間でみた 急速な教育改革に～	長尾ひろみ（大阪女学院 教育研究センター長）	20
12月1日	アドベントの アフタヌーン・ティー	中止	阿部恩 (日本基督教団神戸教会)	
3月1日	早春のアフタヌーン・ティー	交わりとお茶の会 (古ハガキを使用して土瓶敷きづくり)	郡あや子 (神戸YWCA 会員)	10
延参加人数（全5プログラム）				119

## 文学講座

代表 中尾廣美  
メンバー 8人

## ● 活動方針・目標

「徒然草」を読み切る。

## ● 活動報告

文学講座は毎月第3火曜日午後1時半より（8月を除く）笠原芳光氏を講師に迎え実施した。「徒然草」を読み始めて3年目である。全243段を読み切ろうと頑張って学んでいる。兼好の知識と知恵に刺激され楽しんでいる。

講師が体調をくずされているので回復を待ちながら、2016年1月からは自主勉強とした。

## ● 活動実績

開催日	ミーティング (場所は全て神戸YWCA)	テーマ・主な内容	講師名	参加人数
4月21日	第1回 文学講座	「徒然草」140段	笠原芳光	7

5月19日	第2回 文学講座	「徒然草」145段	笠原芳光	7
6月16日	第3回 文学講座	「徒然草」156段	笠原芳光	7
7月21日	第4回 文学講座	「徒然草」163段	笠原芳光	8
9月15日	第5回 文学講座	「徒然草」174段	笠原芳光	7
10月20日	第6回 文学講座	「徒然草」179段	笠原芳光	6
11月17日	第7回 文学講座	「徒然草」184段	笠原芳光	8
12月22日	第8回 文学講座	「徒然草」188段	メンバーで輪読	7
1月19日	第9回 文学講座	「徒然草」195段	メンバーで輪読	6
2月16日	第10回 文学講座	「徒然草」205段	メンバーで輪読	6
3月15日	第11回 文学講座	「徒然草」216段	メンバーで輪読	7
延参加人数（全11回）				64

## マザースカレッジ企画会

招集者 湯口恵  
メンバー 6人

### ● 活動方針・目標

- ・よりよく生きるために、子ども・おとな、本との出会いの中で、「ことばの力・生きる糧・人が育つ」をキーワードに研究会、講演会を実施する。
- ・それぞれの地域で貢献できる質の高いストーリーテラーの養成を目指す。

### ● 活動報告

<公開講座>

10月16日に神戸教会で、「ライラックの枝のクロウタドリ」の出版を機に大月ルリ子さんにお話をいただいた。語られたたくさんの詩のよるこび、たのしみをみんなと分かち合えたすばらしいときであった（参加者160人）。次もまた、との声も多く、これからもできるなら続けていきたい。

<ストーリーテリング研究会>

5、6、9、10、11、1、2月の第4金曜日（年7回）に開催した。

ストーリーテリングの実施、講評を行なうことと、テキスト「児童文学論」の学者、児童文学作品を読んだ感想、意見交換を通して、ストーリーテラーとしての資質の向上につとめた。神戸市青少年会館で実施しているため、神戸YWCAのことを知ってもらう機会が少ない。

<子ども文庫支援活動 児童養護施設・神戸真生塾おはなし会>

毎月（8、12月をのぞく）第3日曜日14時～15時に、神戸真生塾にて子どもたちや先生と絵本やおはなしを楽しんでいる。これからも続けていきたい。

### ● 活動実績

開催日	ミーティング (場所)	主な議事内容など	参加 人数	延参加人数 (全回数)	平均参加 人数
6月8日	第1回ミーティング（神戸YWCA）	ストーリーテリング研究会・真正塾の活動報告、公開講座の準備	6	32	4
8月24日	第2回ミーティング（神戸YWCA）	公開講座詩集「ライラックの枝のクロウタドリ」を楽しむ会にむけてのダイレクトメール発送準備、打ちあわせ	3		
9月28日	第3回ミーティング（神戸YWCA）	10/16の公開講座のための打ちあわせ（役割分担、参加者の現況など）	3		
10月14日	第4回ミーティング（神戸YWCA）	公開講座のためのアンケート、レジメ印刷	6		
11月17日	第5回ミーティング (神戸青少年会館)	公開講座のアンケート 集計結果報告と反省	4		
1月25日	第6回ミーティング（神戸YWCA）	2016年度のプログラムの検討	5		
3月8日	第7回ミーティング（神戸YWCA）	石井桃子ドキュメンタリー映画の 上映会について	5		

開催日	プログラム（場所）	テーマ・内容	講師名等	参加人数
10月16日	公開講座（神戸教会）	公開講座 詩集「ライラックの枝のクロウタドリ」 を楽しむ会	大月ルリ子	170

### <ストーリーテリング研究会>

開催日	プログラム・イベント名 （場所）	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数
5月22日	第1回 定例会 （神戸市青少年会館）	「児童文学論」第6章の学習「ホメロスのオデュッセイ ヤ物語」「アーサー王物語」を読んでの感想・意見交換	大月ルリ子	30
6月26日	第2回 定例会 （神戸市青少年会館）	ストーリーテリングの実践、論評	大月ルリ子	30
9月25日	第3回 定例会 （神戸市青少年会館）	「児童文学論」第10章の学習「北国のうしろの国」 「たのしい川べ」を読んでの感想・意見交換	大月ルリ子	29
10月23日	第4回 定例会 （神戸市青少年会館）	ストーリーテリングの実践、論評	大月ルリ子	31
11月27日	第5回 定例会 （神戸市青少年会館）	「ホビットの冒険」「指輪物語」を読んで 感想・意見交換	大月ルリ子	27
1月22日	第6回 定例会 （神戸市青少年会館）	「児童文学論」第7章の学習「詩を読む若き人々」 「バラッド詩集」詩の発表	大月ルリ子	24
2月26日	第7回 定例会 （神戸市青少年会館）	ストーリーテリングの実践、論評	大月ルリ子	26
延参加人数（全7プログラム）				197

### <神戸真生塾おはなし会>

開催日	プログラム・イベント名 （場所は全て神戸真生塾）	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数	
				子ども	先生
4月19日	第1回 おはなし会	絵本の読み聞かせ、ストーリーテリング	西野京子	6	3
5月24日	第2回 おはなし会	絵本の読み聞かせ、ストーリーテリング	西野京子 岸上美和	6	3
10月18日	第3回 おはなし会	絵本の読み聞かせ、ストーリーテリング	西野京子 岸上美和	6	3
11月29日	第4回 おはなし会	絵本の読み聞かせ、ストーリーテリング	西野京子 岸上美和	6	4
1月24日	第5回 おはなし会	絵本の読み聞かせ、ストーリーテリング	西野京子 岸上美和	7	4
2月21日	第6回 おはなし会	絵本の読み聞かせ、ストーリーテリング	岸上美和	5	3
3月20日	第7回 おはなし会	絵本の読み聞かせ、ストーリーテリング	西野京子	4	3
延参加人数（全7回）				40	23

## わいわい科学クラブ（旧理科実験工作教室）

代表 齋藤明子  
メンバー 14人

### ● 活動方針・目標

- ・子どもたちの、科学する心・考える力・自然への豊かな目を育てる。
- ・子どもたちの主体性、リーダーシップを育成する。
- ・以上の目標を達成できるように、毎月1回土曜に各75～90分の2部制や3部制の科学クラブを開催し、子どもたちひとり一人が、身近な題材で実験をしたり、もの作りを体験したりすることに楽しく取り組めるようにサポートする。

### ● 活動報告

「理科実験工作教室」8年目の2015年度は、名称や目的、枠組みを少し変えた。子どもたちひとり一人がゆっくと実験や工作が体験できるようにしたいと考え、グループ名を「わいわい科学クラブ」に変更した。会場を神戸YWCA本館と分室にし、2部制（本館、要申込み）と3部制（分室、申込み不要）とした。

前日から設営準備ができた、後片付けもゆとりを持ってできたりするのが有難い。何よりも、多い時には20人近い子どもたちが賑やかに行き来したり、チャペルや分室を使用するのを職員や会員の皆さんがあ

たたく見守ってくださる事がとても嬉しい。

参加児童が昨年度より 100 人ほど減少（1 開催日平均 21 人）。テーマのマンネリ化もあるだろうが、主に校区外会場へ子どもだけで足を運ぶのは禁止されている事に因るようだ。次年度は保護者も子どもと一緒に参加されることを強く勧めたい。

今年度新たに、熟年の方 2 人、学生サポーター派遣プログラムから常時参加した人、理科実験工作教室 0B の中学 1 年生がサポーターとして活動された。

神戸YWCA分室で行なう「わいわいダイルム」にも 2、3 カ月に 1 回のペースで出前教室を続けている。高齢者も身近な実験や理科工作を楽しんでおられる。

3 年ぶりに、兵青連傘下団体で取り組む「ひょうご青少年フェスティバル」に「神戸YWCAのわいわい科学クラブ・シュート棒であそぼう」のブースを出した。

## ● 活動実績

開催日	ミーティング (場所)	主な議事内容など	参加人数	延参加人数 (全回数)	平均参加 人数
5月12日	5月打ち合わせ会 (神戸YWCA本館)	月テーマの作り方や流し方の検討、 材料や用具の準備、作成等	3	65 (全15回)	4
6月2日 6月12日	6月打ち合わせ会 (神戸YWCA分室)	月テーマの作り方や流し方の検討、 材料や用具の準備、作成等	6		
7月7日 7月10日	7月打ち合わせ会 (神戸YWCA本館)	月テーマの作り方や流し方の検討、 材料や用具の準備、作成等	13		
7月31日 8月17日	8月打ち合わせ会 (神戸YWCA分室)	月テーマの作り方や流し方の検討、 材料や用具の準備、作成等	13		
9月14日	9月打ち合わせ会 (神戸YWCA分室)	月テーマの作り方や流し方の検討、 材料や用具の準備、作成等	4		
9月28日 10月7日	10月打ち合わせ会 (神戸YWCA本館)	月テーマの作り方や流し方の検討、 材料や用具の準備、作成等	9		
11月4日	11月打ち合わせ会 (神戸YWCA本館)	11月出前「くらしか関西」の和智さんから、 作り方や流し方のレクチャー	5		
12月2日 12月9日	12月打ち合わせ会 (神戸YWCA本館)	月テーマの作り方や流し方の検討、 材料や用具の準備、作成等	6		
1月8日	1月打ち合わせ会 (神戸YWCA分室)	月テーマの作り方や流し方の検討、 材料や用具の準備、作成等	3		
2月5日	2月打ち合わせ会 (神戸YWCA分室)	月テーマの作り方や流し方の検討、 材料や用具の準備、作成等	3		

開催日	プログラム・イベント名 (場所)	テーマ・主な内容	参加 児童数	参加 サポーター数
5月23日	第1回わいわい科学クラブ (神戸YWCA本館)	かさ袋ロケットⅢプラスをとばそう	21	10
6月20日	第2回わいわい科学クラブ (神戸YWCA分室)	電気パンと 「あつという間のゼリー」をつくろう	38	11
7月18日	第3回わいわい科学クラブ (神戸YWCA本館)	ドライアイスをとのしもう	33	10
8月22日	第4回わいわい科学クラブ (神戸YWCA分室)	浮沈子をつくろう	14	11
9月19日	第5回わいわい科学クラブ (神戸YWCA分室)	基本のスライムをつくろう	18	7
10月17日	第6回わいわい科学クラブ (神戸YWCA本館)	牛乳パックでかんたんカメラ	16	8
11月21日	第7回わいわい科学クラブ (神戸YWCA本館)	「もけいグライダー」をとばそう	16	12
12月19日	第8回わいわい科学クラブ (神戸YWCA本館)	コイルモーターをまわそう	21	10
1月23日	第9回わいわい科学クラブ (神戸YWCA分室)	鉄粉でカイロと花火をつくろう	17	10
2月20日	第10回わいわい科学クラブ (神戸YWCA分室)	べっこうあめ、りんごあめをつくろう	18	8
延参加人数 (全 10 回)			212	97

### <出前プログラム>

開催日	プログラム・イベント名 (場所)	テーマ・主な内容	参加 人数	参加 サポーター数
4月21日	第1回ダイルム出前教室 (神戸YWCA分室)	マーブリング	8	2

6月30日	第2回デイルーム出前教室 (神戸YWCA分室)	あつという間のゼリー	10	2
9月8日	第3回デイルーム出前教室 (神戸YWCA分室)	浮沈子	10	2
10月13日	第4回デイルーム出前教室 (神戸YWCA分室)	水中花	9	2
2月9日	第5回デイルーム出前教室 (神戸YWCA分室)	シューツ棒	10	2
2月11日	ひょうご青少年フェスティバル (元町商店街3～5丁目)	シューツ棒であそぼう	70	8
延参加人数(全6回)			117	18

## 神戸YWCA学院

### <日本語コース>

講師 齋藤明子(主任)、櫻井かおり(副主任)、福井武司(副主任)、小川佐由理、小野木愛、鍛冶大介、小澤恭子、後藤範子、小林麻紀子、佐伯かをる、澤村典子、高島亜紀子、高場政晃、萩原洋輔、水町啓子、森口郁子、吉川裕子、米田和博

職員 原田雅子

### ●事業方針・目標

「安心して地域で暮らせる」ための日本語教育を行なう。

### ●事業報告

地域に暮らす外国人のための日本語教育を実施した。

日本で就業するために必要とされる日本語能力やITスキル等の取得を目標とした兵庫県委託事業「日本語・就業カスキルアップコース」(3カ月)にて、就労支援を実施した。

地域に暮らす外国人と日本人との共生をめざす文化庁委託事業『生活者としての外国人』のための日本語教育事業として、「生活のための基礎日本語」講座(12日、2クラス)、「やさしい日本語」の出前授業、多文化共生イベントを実施した。

また、外国にルーツを持つ子どもたちの支援として、夏休みに「勉強に役立つ日本語クラス」(15日)を開講し、引き続き子どもたちが帰ってこられる居場所づくりを目指す「はっぴー・すくーる」(月1回)、教科学習サポートを行なう「はっぴー・さぼーと」(週1回)を実施した。乳幼児を持つ母親が子育てに必要な日本語を学ぶ「ママの日本語クラス」(月2回)も継続している。

神戸市中央区赤い羽根地域づくり助成『やさしい日本語』の啓発活動と冊子作成」を新規に受託し、「やさしい日本語」の冊子作成と普及活動を行なった。

レギュラーコース、プライベートコースも、生活者を対象とした独自のカリキュラムのもと、個々人の要望に沿った丁寧な授業を実施している。基督教の日本語クラスも説教添削を中心に実施している。

これからも地域で生活をする一人ひとりのニーズに合わせた日本語教育の実施をめざす。また、文化庁委託事業の活動等を通し、地域や行政との連携体制が深まりつつある。在住外国人と地域の方々をつなぐ働きをも通して、安心して地域で暮らせるための日本語教育の実施をめざす。

### ●事業実績

コース名	内容・期間	クラス数	在籍者数	回数	講師数
レギュラーコース	I期:4月13日～7月10日 II期:8月31日～11月20日 III期:11月30日～3月4日	2	延41	3	5
プライベートコース	4月1日～3月31日	23	延40	-	5
日本語クラス講師派遣	12月15日～3月8日	1	-	1	2

委託事業名	プログラム名・期間	クラス数	在籍者数	回数	講師数
文化庁 「生活者としての外国人の ための日本語教育事業」 地域日本語教育実践 プロジェクト	生活のための基礎日本語クラス 6月15日～7月8日	2	25	1	5
	やさしい日本語 出前授業他 7月1日、8月20日、9月25日、10月24日 11月21日、1月25日、2月24日	-	119	7	4



兵庫県国際交流協会 「外国人県民・児童生徒の 居場所づくり事業」	勉強に役立つ日本語クラス 8月3日～8月21日	2	15	1	10
	はっぴー・さぼーと 4月4日～3月26日	-	15	35	8
	はっぴー・すくーる 4月11日～3月12日	1	20	11	7
	ママのにはんごクラス 4月2日～3月3日	1	10	15	5
兵庫県委託訓練事業 離職者等再就職訓練事業 定住外国人向け職業訓練コース	定住外国人向け 日本語・就業カススキルアップコース 9月25日～12月25日	1	15	1	8
神戸市教育委員会	新規 JET 日本語教育研修講座 8月24日～8月26日	3	31	1	3
神戸市中央区 赤い羽根地域づくり助成事業	「やさしい日本語」の啓発活動と冊子作成 10月1日～3月31日	-	-	1	5

### <日本語教師養成コース>

講師 齋藤明子（主任）、櫻井かおり（副主任）、福井武司（副主任）  
職員 原田雅子

#### ● 事業方針・目標

国際的な広い視野で日本語を教えることのできる日本語教師の養成

#### ● 事業報告

2015年度は「日本語教師養成講座（420時間コース）」は実施できなかった。

「夏期日本語集中講座」の実施により、帝塚山学院大学、神戸女学院大学の日本語教育実習を受け入れた。例年夏期に実施していた「日本語教師夏季実習講座」は、レベルを初級から中級へ変更して募集したが不開講となった。2016年1月「日本語教師実習講座（中級レベル）」から冬期に開講。4人が受講した。

「日本語ボランティア養成講座」は、6月と10月に2回開講し、計13人が受講した。修了生は日本語コースの会話ボランティア等に繋がっている。

昨年度に引き続き明石市・三木市・伊丹市・宝塚市などの国際交流協会へ、アドバイザー派遣によるボランティア養成講座においても実績を積んでいる。

#### ● 事業実績

コース名	内容・期間	クラス数	在籍者数	回数	講師数
日本語教育実習講座	1月16日～2月20日	1	4	1	2
日本語教育実習受け入れ	帝塚山学院大学 7月21日～7月31日	1	9	1	
	神戸女学院大学 8月1日～8月8日	1	4	1	
夏季日本語集中講座	7月22日～8月8日	1	20	1	
日本語ボランティア養成講座	1回目 5月15日～6月5日 2回目 10月17日～11月7日	1	13	2	1
アドバイザー派遣	三木市国際交流協会 7月27日～8月24日 宝塚市国際交流協会 10月17日 伊丹市国際交流協会 2月4日 明石市国際交流協会 3月16日	4	-	1	2

### <外国語コース>

講師 バラティ・スレシュチャンドラ、ダン・クロン、ポール・ボテロ、マーティン・ウィルス、リッキー・バーネット、マイケル・ウィルキンス、ジョン・シェルドン、マーク・ノートン、ノエル・スラットリー、ブラッド・フリーダーズ、マイケル・トリンカ、土井川佳世子、川辺比呂子、朴正娥、金明珉、長綱有理  
職員 秋月啓子

#### ● 事業方針・目標

- ・国際理解の手段としての外国語を学ぶ場を提供する。
- ・国際理解、多文化共生を進めるプログラムを提供する。
- ・受講生のニーズに応えたクラス・プログラム運営に努める。

・効率の良い運営に努め、収支維持を目指す。

## ● 事業報告

レギュラーコースは英語3、韓国語1クラスを実施。

プライベートコースは継続クラスのみ開講した。

(公財) 海外子女教育振興財団 (JOES) の受託事業、帰国子女のための英語保持教室 (小学2年生～中学生、毎週土曜日) は、午後からの時間帯 (2コマ) で計10クラスを神戸YWCA講師4人とJOES講師1人が担当した。

カスタムコースは、帰国生の英語保持クラス「All Together」を2クラス (5歳～1年生、2～4年生、毎週土曜日) 開講し、講師1人が担当した。ポール・ボテロ講師が夏で退職し、ジョン・シェルドン講師が後任を務めた。「シニア英会話クラス」(年3学期制、火曜日午前) は昨年度に続き1クラスを開講。

特別講座「韓国語初級」は1月に受講生が3人に満たなくなり、クラスを閉じるようになった。

成人クラスは受講生の減少が大きな課題で、新たなプログラムを打ち出す必要に迫られている。

## ● 事業実績

コース名	講座・プログラム名	クラス数	在籍者数	回数	講師数
レギュラーコース (英語・韓国語)	春・秋・冬学期 (各12回)	4	14	36	3
プライベートコース	英語	4	12		3
カスタムコース	英語保持クラス「All Together」	3	11	36	2
	シニア英会話	1	4	36	1
JOES	外国語保持教室 (JOES 委託)	10	55	36	4
オフキャンパス	兵庫県英会話Dクラス	1	8	30	1
	コーポカルチャー宝塚 (ネイティブ英会話A・B)	2	11	47	1
	コーポカルチャー宝塚 (ハングル経験者)	1	7	36	1
	コーポカルチャー宝塚 (ハングル初級1・2)	2	14	15	1
特別講座	韓国語初級	1	3		1

## <地域福祉コース>

講師 池端伯子、金香百合、小崎啓子、関本雅子、松本京子

職員 大江雅子、松田恵美子

## ● 事業方針・目標

地域福祉に貢献できる人材を育成する

## ● 事業報告

今年度はWAM助成 (独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業) を受けて、9～11月に毎月1回ずつ講演会を実施した。第一回は金香百合さん (ホリスティック教育実践研究所) による地域の担い手育成講座「食から始まるたちつと」、第2回目は小崎啓子さん (管理栄養士) による「人として“食べられる幸せ”をもう一度振り返りたい」、第3回目は池端伯子さん (歯科医師) による「認知症と口腔ケア」であった。2016年1月と2月には、特に訪問介護などに従事する人を対象に、現場で求められる知識とスキルの獲得を目的として「在宅ホスピスケア講座」を実施。今後とも地域福祉に求められる人材を育成する講座を実施していきたい。

## ● 事業実績

コース名	講座・プログラム名	クラス数	在籍者数	回数	講師数
WAM 食から始まるたちつと	講師：金香百合 (9月26日)	1	18	1	1
在宅ホスピスケア講座	在宅ホスピスと医療 講師：関本雅子 (1月23日)	1	14	1	1
在宅ホスピスケア講座	在宅ホスピスケアの実際と支援の方法 講師：松本京子 (2月20日)	1	16	1	1

WAM 食の講演会	人として「食べられる幸せ」を もう一度振り返りたい 講師：小崎啓子（10月31日）	1	18	1	1
WAM 食の講演会	認知症と口腔ケア 講師：池端伯子（11月28日）	1	14	1	1

## <文化教養コース>

講師 中原眞理子（ピアノ講師）、田中景代（ピアノ講師、休職中）  
三好公子（中国医療気功）  
職員 大江雅子、原田雅子

### ● 事業方針・目標

人々のエンパワメントのために文化・教養の視点から支援する。

### ● 事業報告

#### <ピアノ教室>

長年神戸YWCAの音楽教育を支えてくださった田中景代講師がご家庭の事情で休職されたことで、もうひとりの中原眞理子講師が、これまでの生徒に加えて田中講師の生徒も引き継ぐ形で2015年度がスタートした。受講生は初級4人、成人2人で計6人である。

そのような現況の中でも、12月には生徒によるピアノクリスマス会を実施することができた。参加者は生徒5人、家族8人、職員1人、講師1人の計14人。1人ひとりの特性に丁寧に寄り添う講師の指導により、生徒たちに音楽に対する喜びが育っていることを感謝する。

#### <中国医療気功>

毎月1回第2木曜日に実施した。前期・後期に分けて受講生を募集し、前期9人、後期9人が受講した。三好公子講師は、中国国家認定の指導員として医療気功の普及につとめておられ、気功だけでなく、背景にある中国古来の文化も共に学ぶことができる。心身の健康を保つユニークなプログラムである。来年度は実施曜日を変更し継続実施（毎月1回第3火曜日）。

### ● 事業実績

コース名	講座・プログラム名	クラス数	在籍者数	回数	講師数
ピアノ	月曜クラス	1	5	42	1
中国医療気功	中国医療気功（前期）	1	9	6	1
	中国医療気功（後期）	1	9	6	1

## <日本語教育事業運営委員会>

委員 川辺比呂子、斎藤明子、櫻井かおり、福井武司、澤村典子、寺内真子、原田雅子

### ● 事業方針・目標

日本語教育に関する事業の課題検討を行い、事業計画の見直しや事業計画の立案を行うため、神戸YWCA学院のもとに設置する。

### ● 事業報告

日本語教育事業の現状を把握し、課題の検討を行なった。日本語コースでは、文化庁委託事業、HIA助成事業、委託職業訓練、勉強に役立つ日本語クラスなど、地域に暮らす外国人対象の社会貢献事業の日本語教育は内外から評価が高い。一方でレギュラーコースなどの有料クラスの受講生は減少傾向にある。持続可能な日本語教育事業とするために、さまざまな方策について模索した。日本語教師養成コースでは、2014年度に開講を見送った日本語教師養成講座420時間コースをぜひ開講したいという希望を持ち、継続して修了生の方々から寄付をお願いして広報に力を注いだ。2015年度も開講を見送る結果となった。2014年度下半期以降の決定過程や広報活動、寄付、応募状況等についての情報整理と振り返りを行った。多くの方からご支援いただいたことに感謝を申し上げたい。また、日本語教育事業の主任講師交代に伴う2016年度の体制整備も行なった。

## ● 事業実績

開催日	運営委員会	出席者数	延べ出席者数	平均出席者数
4月23日	第1回日本語教育事業運営委員会	6	26	6.5
6月15日	第2回日本語教育事業運営委員会	6		
8月21日	第3回日本語教育事業運営委員会	7		
3月29日	第4回日本語教育事業運営委員会	7		

## V. 活動共通事業

### キリスト教基盤部

代表 野村春美  
 メンバー 9人  
 担当職員 西本玲子

#### ● 活動方針・目標

- ・今年度の基盤部の諸行事を通して神戸YWCAのキリスト教基盤である「イエス・キリストにおいて示された愛と奉仕の生き方」を会員が学ぶ。また会員同士の親睦を深める。
- ・他団体との協力による「イースター早天礼拝」「世界YMCA / YWCA合同祈禱週」「神戸市民クリスマス」「世界祈禱日」などを通して、キリスト教に触れ、理解する機会とする。
- ・広報の充実を図り、多くの方々の参加を呼びかける。

#### ● 活動報告

今年度も一つ一つの行事が、「イエス・キリストにおいて示された愛と奉仕の生き方」を会員が学べる機会になることを念頭に置き、毎月の部会で話し合ってきた。まず、今年度の標語聖句「何事も愛をもって行いなさい」が会員の目に多く触れるようにと、会館の数カ所に掲げて発信した。また、バザーでは昨年と同様に聖句を書いたしおりを作成し、来会者に配布した。

次に、会員のためのクリスマス会にあたっては、会員に献金先の活動のことをよく知ってもらい、献金だけでなく、その活動への思いも共有してもらおうクリスマス会を計画した。昨年の献金先のひとつである、釜ヶ崎で長年ボランティアケースワーカーとして活動されている入佐明美さんに活動のお話をいただいた。お話の後はグループ毎に、自己紹介、感想、質問について話し合い、活動についての思いを共有してもらった。入佐さんの「愛と奉仕の生き方」に参加者が一つ思いになることができたことは感謝である。来年度もキリスト教基盤の役割は何かを考え、その任務を果たすことができるように活動していきたい。

#### ● 活動実績

開催日	部会 (場所はすべて神戸YWCA)	主な議事内容など	参加人数	延参加人数 (全回数)	平均参加人数
5月18日	第1回 部会	今年度のプログラム確認、クリスマス献金、聖書の言葉発信	7	83 (全13回)	6
6月22日	第2回 部会	2014年度クリスマス献金送付先の活動報告、2015年度クリスマス献金	6		
7月31日	第3回 部会	クリスマス献金(冬季募金との差別化)、バザー出店	4		
9月18日	第4回 部会	合同祈禱週(メッセンジャー等)、バザー関連報告、神戸YWCAクリスマス	7		
10月2日	第5回 部会	神戸YWCAクリスマス(メッセンジャー候補、内容等)	7		
10月23日	第6回 部会	合同祈禱週(役割分担等)、神戸YWCAクリスマス(メッセンジャー決定、内容等)	4		
11月2日	第7回 部会	合同祈禱週(静まりの時等)、神戸YWCAクリスマス(礼拝プログラムの検討、ちらし、献金先等)	8		
11月9日	準備作業	合同祈禱週会場準備	8		
11月10日	準備作業	神戸YWCAクリスマス案内チラシ等の発送作業	9		
11月27日	第8回 部会	神戸YWCAクリスマス(プログラム確認、物品販売、役割分担等)、今後のスケジュール確認	6		
12月4日	準備作業	神戸YWCAクリスマス会場準備	8		
1月8日	第9回 部会	神戸YWCAクリスマス振り返り、2016標語聖句の検討、クリスマス献金振分け、世界祈禱日、神戸YMCA/YWCAイースター早天礼拝	5		
3月26日	準備作業	神戸YMCA/YWCAイースター早天礼拝(イースターエッグづくり)	4		

開催日	プログラム・イベント名 (場所)	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数
4月5日	イースター早天礼拝 (神戸 YMCA ウェルネセンター)	神戸 YMCA/YWCA イースター早天礼拝	阪口新 (日本基督教団 神戸聖愛教会伝道師)	89
11月10日	YMCA/YWCA 世界合同祈禱週礼拝 (神戸 YWCA)	「希望あれ」	上原信幸 (日本聖公会神戸聖ミカエル教会)	34
11月9日～ 11月14日	合同祈禱週「静まりの時」 (神戸 YWCA)	合同祈禱週冊子を輪読 (毎日 12時30分～13時)		延 20
12月5日	神戸 YWCA クリスマス	クリスマス礼拝と祝会	入佐明美 (大阪建設労働者生活相談室 ボランティアケースワーカー)	35
12月11日	神戸市民クリスマス (日本基督教団神戸教会)	みんなで祝うクリスマス (市内のキリスト教会を中心に クリスマス礼拝と キャロリング)	上内鏡子 (日本基督教団 神戸イエス団教会)	250
3月4日	世界祈禱日 (日本聖公会聖ミカエル教会)	世界祈禱日礼拝と交流 キューバから主題 「子どもを受け入れなさい。 そしてわたしたちも」	上原信幸 (日本聖公会 神戸聖ミカエル教会)	160
3月26日	イースター早天礼拝 (東遊園地)	イースター礼拝	藤井尚人 (日本聖公会 神戸聖ヨハネ教会)	98
延参加人数 (全7プログラム)				666

## 讃美歌を歌おうかい

代表 大工原則子、中尾廣美  
メンバー 9人

### ● 活動方針・目標

讃美歌を共に歌い、クリスマスなどで奉仕する。

### ● 活動報告

毎月第1木曜日 15:00～16:00 (8月をのぞく) に神戸YWCA 5階チャペルで讃美歌を歌う。毎回曲の解説を奏楽者である橋本さんより聞いて、皆で歌詞を読んでから歌う。リクエストの曲を含め8曲位ずつ歌ってきた。神戸YWCAクリスマス礼拝では2曲を賛美することが出来た。参加人数が減ってきたこともあり、どなたにでも気軽に参加してもらいたい。

### ● 活動実績

開催日	プログラム・イベント名 (場所は全て神戸YWCA)	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数
4月2日	第1回 讃美歌を歌おうかい	讃美歌(Ⅱ編付き) 136、33、146、148、158、151、136	橋本静子	8
5月7日	第2回 讃美歌を歌おうかい	(Ⅰ) 490、370、142、108、111 58、 477、399 (Ⅱ) 156	橋本静子	7
6月4日	第3回 讃美歌を歌おうかい	(Ⅱ) 33、113、192、41、49、50、52	橋本静子	7
7月2日	第4回 讃美歌を歌おうかい	(Ⅱ) 161、195、189、188、183、185、116、152、216	橋本静子	8
9月3日	第5回 讃美歌を歌おうかい	232～240、177	橋本静子	8
10月1日	第6回 讃美歌を歌おうかい	119、120 (クリスマス用)	橋本静子	6
11月5日	第7回 讃美歌を歌おうかい	119、106 をクリスマスに	橋本静子	6
12月3日	第8回 讃美歌を歌おうかい	讃美歌2曲の練習	橋本静子	9
1月6日	第9回 讃美歌を歌おうかい	(Ⅱ) 147、60、521、177	橋本静子	8
2月4日	第10回 讃美歌を歌おうかい	(Ⅱ) 82 他	橋本静子	7
3月3日	第11回 讃美歌を歌おうかい	(Ⅱ) 150、讃美歌 21 306、310、311	橋本静子	7
延参加人数 (全11プログラム)				81

## 聖書を読む会

代表 大工原則子、中尾廣美  
メンバー 6人

### ● 活動方針・目標

- ・ 聖書を読み、イエス・キリストの生き方を学ぶ。
- ・ YWCAの基盤であるキリスト教を知る機会として自由に参加してもらう。

### ● 活動報告

毎月第1木曜日 13:30～15:00に(8月のぞく)、宇都宮佳果先生の指導により共に聖書を読み解いた。YWCAの基盤であるキリスト教をより深く理解し、イエスの平和を共に学ぶため続けてきている。先生のお話はとてもわかりやすく楽しいので、是非参加して欲しい。会員および一般に向けて開かれた自由な会なのでいつでも覗いてほしい。

### ● 活動実績

開催日	プログラム・イベント名 (場所は全て神戸YWCA)	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数
4月2日	第1回 聖書を読む会	マタイによる福音書 14章1～36	宇都宮佳果	7
5月7日	第2回 聖書を読む会	マタイによる福音書 15章1～39	宇都宮佳果	8
6月4日	第3回 聖書を読む会	マタイによる福音書 16章1～28	宇都宮佳果	8
7月2日	第4回 聖書を読む会	マタイによる福音書 17章1～27	宇都宮佳果	9
9月3日	第5回 聖書を読む会	マタイによる福音書 18章1～35	宇都宮佳果	8
10月1日	第6回 聖書を読む会	マタイによる福音書 19章1～30	宇都宮佳果	7
11月5日	第7回 聖書を読む会	マタイによる福音書 20章1～34	宇都宮佳果	7
12月3日	第8回 聖書を読む会	マタイによる福音書 21章1～46	宇都宮佳果	9
1月6日	第9回 聖書を読む会	マタイによる福音書 22章1～46	宇都宮佳果	7
2月4日	第10回 聖書を読む会	マタイによる福音書 23章1～39	宇都宮佳果	7
3月3日	第11回 聖書を読む会	マタイによる福音書 24章1～51	宇都宮佳果	7
延参加人数(全11プログラム)				84

## 運営委員会

会長 鶴崎祥子  
副会長 斎藤明子、西岡容子  
会計 谷合公江  
書記 野村春美、宮田泰子  
総幹事 寺内真子  
担当職員 西本玲子

### ● 活動方針・目標

- ・ 神戸YWCAのビジョン、目標を定め、それに基づき会員が活動を円滑に運営できるようにする。そのために、運営委員会のあり方など、会員活動の組織を見直す。
- ・ 日本YWCA、他市YWCA、他団体との関係を深める。
- ・ 若者が主人公になれる場をつくる。

### ● 活動報告

神戸YWCAはここ数年、会員の高齢化と働く女性の世代の減少が深刻化してきた。運営委員の人数は今年度は6人となった。その中で神戸YWCAの活動方針・目標をいかに実現するかが問われてきた。

なぜ運営委員の担い手がないのかという問いかけから、会員活動全般の問い直しをはかり、運営委員会と職員とで6月には合宿を実施。そこで「社会にインパクトを与える活動づくりの必要性」「参画協働の活動のあり方の再確認」という問題意識が共有され、2015年11月から「新しい活動づくりワークショップ」に取り組んでいる。

また、社会の動きに対して即応すべく、「どうなっているの、今の日本」シリーズを実施。平和活動部と共催して安保関連法案、マイナンバーについての勉強会を行なった。

「次世代プロジェクト」に関しては具体的な活動づくりにまでは至らず、2016年度への継続課題として残った。

2016年度は神戸YWCAの事業の一つ、小規模保育園が開設する。運営委員会を通して会員の関わり方を深めていくには 理事会・運営委員会・職員との協力が望まれる。

働く女性も運営委員として活動できる組織の見直し、新しい活動づくりは急務であり、次年度はより具体的な形となるよう取り組みたい。

## ● 活動実績

開催日	部会 (場所は全て神戸YWCA)	主な議事内容など	参加人数	延参加人数 (全回数)	平均 参加人数
3月14日	第1回 運営委員会	新役員・各部委員決定、年間スケジュール確認など	8	86 (全12回)	7
4月11日	第2回 運営委員会	運営委員の働き、2015年度計画案の確認、各部メンバー構成の確認など	7		
5月9日	第3回 運営委員会	キックオフミーティング(役割分担等)、各部メンバー確定など	7		
6月19日	第4回 運営委員会	キックオフミーティング最終確認、組織検討の合宿について	7		
7月11日	第5回 運営委員会	キックオフミーティングの振り返りおよび合宿の振り返り、安全保障関連法案についての催し、3市YWCA交流会、催しおよび賛同関連	7		
9月12日	第6回 運営委員会	合宿を受けて組織検討、3市YWCA交流会、夏の活動報告など	7		
10月10日	第7回 運営委員会	会員活動をつなげる仕組み、組織変革のためのワークショップ提案、2016年度活動方針・目標と活動計画、3市YWCA交流会	7		
11月14日	第8回 運営委員会	2016年度ビジョン・目標、3市YWCA交流会最終確認	6		
12月12日	第9回 運営委員会	2015年度活動の振り返りと2016年度活動計画、定期会員集会の議事案、各部メンバー募集方法の変更、その他催しなど	6		
1月9日	第10回 運営委員会	2016年度各部、各プロジェクトの活動計画の確認と委譲内容の検討・提案、定期会員集会	7		
2月6日	第11回 運営委員会	2017年度各部、各プロジェクトの活動計画の確認と委譲内容の検討・提案、定期会員集会(議事内容の検討)	7		
3月28日	第12回 運営委員会	新旧運営委員会引き継ぎ	10		

開催日	プログラム・イベント名 (場所は全て神戸YWCA)	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数
6月13日	キックオフ・ミーティング	グループ対象新年度オリエンテーション活動の目的、枠組みの確認	川島憲志 (ファシリテーター)	21
8月7日	ポーポキのミニ平和映画祭 夏! 「グアムって、平和な島?」	ポーポキ・ピース・プロジェクト、神戸YMCA、神戸YWCA共催 米軍基地を通して軍事化と植民地化について考える	ロニー・アレキサンダー (ポーポキ・ピース・プロジェクト) マイケル・ベヴァーカ (グアム大学チャモル研究センター所長)	20
8月13日	平和の木に花が咲くとき	自らの被爆体験をもとに、生涯を反核、平和運動に投じてきた講演者の話を聞く	田村秀子 (ローグバレー平和合唱団、広島市平和大使)	22
8月19日	どうなってるの、今の日本!? 言ってみよう、素朴なギモン①	安保関連法案ってなに? 知ろう、話そう、考えよう	平和活動部共催	15
10月17日	シュトウケンイチ BLUES NIGHT	チャリティーライブ	シュトウケンイチ	29
11月14日	活動報告および来年度計画と予算書づくり説明会	2015年度活動報告の説明および2016年度活動計画と予算のたてかたの説明		14
11月21日	3市YWCA交流会 (分室)	京都・大阪・神戸YWCAの運営委員と職員が集まり、会員活動での取り組みや課題、組織について紹介。互いに学び合い、今後の3市YWCA交流会のあり方についても検討する	3市YWCA運営委員、職員	14

11月23日 ～継続中	新しい活動づくり ワークショップ	自らの活動力を強め、グループ活動の 民主的ルールを成熟させる。そのために 企画づくりを一から学び直し、連携団体 と共に新たな活動を生み出す。(7回)	川島憲志 (ファシリテーター)	72
3月12日	定期会員集会	第1部：理事会報告、会員活動報告 および計画承認 第2部：新事業～小規模保育を知ろう！		34
延参加人数 (全11プログラム)				241

## 会員ケア委員会

代表 鶴崎祥子  
メンバー 3人  
担当職員 西本玲子

### ● 活動方針・目標

- ・会員および会友の現状を把握し、会費の管理・サービスの向上を図る。
- ・会員数の拡大の方法を検討する。
- ・会員および会友に誕生日カードなどを送付する。

### ● 活動報告

会員ケア委員会は、昨年に引き続き年4回の委員会および事務作業を行なった。  
ここ数年は会費納入状況の把握と管理に取り組んできたが、状況は整備され、会費の面からではあるが会員の現状を把握しやすくなった。事務的な作業が続いたが、今後は、それぞれの会員の現状をより丁寧に把握しつつ、つながりを継続できるような何らかの工夫（例えばクリスマスカードの送付等）を行なっていきたい。会員・会友への誕生日カード送付は継続して実施できた。

### ● 活動実績

開催日	部会 (場所は全て神戸YWCA)	主な議事内容など	参加 人数	延参加人数 (全回数)	平均参加 人数
4月27日	第1回 委員会	会費納入状況の確認、請求方法の検討、 スケジュール確認	4	15 (全4回)	3
9月14日	第2回 委員会	会費請求を実施することで見えてきた 課題について討議	3		
12月7日	第3回 委員会	自動退会者への対応の検討	5		
1月24日	第4回 委員会	今年度の会費現況について会員に書類発送作業	3		

## WAM 運営委員会

代表 平山芳子  
メンバー 7人  
連携団体：川島憲志、川島恵美、坂井宗月（中央むつみ会）、棚野恭範（兵庫県神戸市中央区社会福祉協議会）、松村敏明（えんぴつの家）、安並剛志（兵庫県社会福祉協議会地域福祉権利擁護センター）

### ● 活動方針・目標

「食」を通して地域をつなぐ

### ● 活動報告

「食」を通して地域をつなぐというテーマのもと、2017年度からの介護保険制度の本格改正も見据えて、独立行政法人福祉医療機構（WAM）の助成を受けて活動を実施した。共に食べる、共に学ぶ機会を創出することにより、「食」の重要性について意識化を図ること。そこから食生活の改善につなげ、一人ひとりが心身共に健康に過ごす事ができるようになること。また「食」を通して、人と人との出会いの場、居場所を創り、その活動の担い手が増えていくことを目的に、一年にわたっての取り組みとなった。

既にある神戸YWCAの多様な活動を活かして、地域連携団体と共に課題に取り組むことにより、ネットワークを上げ、制度の枠を越えた支え合いの繋がりづくりに取り組んだ。

また、「集う」ための環境整備にも取り組んだ。活動拠点となる神戸YWCA分室が、地域の人たちにとって「入りやすく、親しみやすい居場所」となるために、今後の分室のあり方を考え、その「見える化」を行なった。テーブルや椅子、玄関周りをリニューアルし、明るい場づくりができた。



今後の取り組みは、2016年度は地域福祉部にひきつがれる。

● 活動実績

開催日	プログラム・イベント名 (場所は全て神戸YWCA分室)	テーマ・主な内容	参加人数	
			来訪者 (飲み物数)	スタッフ
4月30日	第1回 木曜カフェ	プチカフェ、遊び工作(紙ホイッスル)	4	3
5月7日	第2回 木曜カフェ	プチカフェ、遊び工作(紙とんぼ)	4	5
5月14日	第3回 木曜カフェ	プチカフェ、遊び工作(着地ネコ)	7	3
5月21日	第4回 木曜カフェ	プチカフェ、遊び工作(しゃくとりむし)	14	5
5月28日	第5回 木曜カフェ	プチカフェ、遊び工作(牛乳パックでピョン!)	2	2
6月4日	第6回 木曜カフェ	プチカフェ、カードづくり&絵描き	3	2
6月11日	第7回 木曜カフェ	プチカフェ、遊び工作(バランスとんぼ)	0	2
6月18日	第8回 木曜カフェ	カフェ、販売、遊び工作	9	4
6月25日	第9回 木曜カフェ	カフェ、販売、遊び工作	10	4
7月2日	第10回 木曜カフェ	カフェ、販売、遊び工作	3	6
7月9日	第11回 木曜カフェ	カフェ、販売	1	2
7月16日	第12回 木曜カフェ	カフェ、販売	13	4
7月23日	第13回 木曜カフェ	カフェ、販売	1	1
7月30日	第14回 木曜カフェ	カフェ、販売	5	6
8月6日	第15回 木曜カフェ	カフェ、販売	3	2
8月20日	第16回 木曜カフェ	カフェ、販売	16	5
9月3日	第17回 木曜カフェ	カフェ、販売	4	3
9月10日	第18回 木曜カフェ	カフェ、販売	8	2
9月17日	第19回 木曜カフェ	カフェ、販売	1	2
9月24日	第20回 木曜カフェ	カフェ、販売	9	3
10月1日	第21回 木曜カフェ	カフェ、販売	11	3
10月8日	第22回 木曜カフェ	カフェ、販売	2	4
10月15日	第23回 木曜カフェ	カフェ、販売	8	4
10月22日	第24回 木曜カフェ	カフェ、販売	15	3
10月29日	第25回 木曜カフェ	カフェ、販売	1	6
11月5日	第26回 木曜カフェ	カフェ、販売	5	4
11月12日	第27回 木曜カフェ	カフェ、販売	12	5
11月19日	第28回 木曜カフェ	カフェ、販売	7	5
11月26日	第29回 木曜カフェ	カフェ、販売	19	3
12月3日	第30回 木曜カフェ	カフェ、販売	7	3
12月10日	第31回 木曜カフェ	カフェ、販売	21	4
12月17日	第32回 木曜カフェ	カフェ、販売	6	4
1月14日	第33回 木曜カフェ	カフェ、販売	16	3
1月21日	第34回 木曜カフェ	カフェ、販売	2	2
1月28日	第35回 木曜カフェ	カフェ、販売	16	4
2月4日	第36回 木曜カフェ	カフェ、販売	11	4
2月18日	第37回 木曜カフェ	カフェ、販売	5	4
2月25日	第38回 木曜カフェ	カフェ、販売	19	3

3月3日	第39回 木曜カフェ	カフェ、販売	4	3
3月10日	第40回 木曜カフェ	カフェ、販売	6	3
3月17日	第41回 木曜カフェ	カフェ、販売	4	3
3月24日	第42回 木曜カフェ	カフェ、販売	14	3
延参加人数 (全42プログラム)			328	146

ミニショップ・やどかりマルシェ (毎週火曜日 9:30～10:30) \*全23回 (2015年9月28日から開始)  
 子育てカフェ「ちやいやあらんど」、若年性認知症カフェ「カフェもぐもぐ」、食事会「わいわい亭」、食の講演会 (地域福祉コース)、Taste the World (国際相互支援部) については、各ページを参照。

日付	プログラム・イベント名 (場所)	テーマ・主な内容	講師名等	参加人数
1月31日	映画「ある精肉店のはなし」	映画上映と監督の講演	瀬戸あや	63

日付	ミーティング (場所は全て神戸YWCA分室)	主な議題内容など	アドバイザー	参加人数
12月17日	第1回分室の環境整備ミーティング	分室の中でも特に待合スペースの環境整備について検討、実施	河合早苗 (インテリアデザイナー)	6
1月7日	第2回分室の環境整備ミーティング			
3月5日	環境整備 実施			

## VI. 広報・ファンドレイジング

### バザー実行委員会

代表 谷合公江  
 メンバー (バザー) 5人  
 (ふるふる) 2人  
 担当職員 伝明地敦子

#### ● 活動方針・目標

- ・神戸YWCAと地域の交流の場としてのバザー。
- ・神戸YWCAの活動を広く知ってもらう。
- ・活動資金を作る。
- ・寄付を募る。

#### ● 活動報告

2015年度本館バザーを10月12日(月・祝)に開催した。参加者270人余、目標収益50万円もほぼ達成することができた。地域のつながりで地元商店街からテントなどを借りることができた。企業、会員などからの寄贈品協力、出店協力や販売協力など、多くの方々のご協力に感謝している。学院関係の各国の母国料理や平和活動部のコントパフォーマンスなど、楽しい、おいしい、賑やかな「ふれあい感謝バザー」だった。

3月26日(土)に開催された分室バザーは晴天に恵まれ、12時から3時までの短時間で、ボランティアを含め約120人の来場があり、目標額20万円を越える収益を得た。ガレージスペースでのカフェや展示、改装してオープンになった売場、外の販売ブースなど、外に開かれたバザーだった。

本館の新事業が始まり、バザーの企画、運営も公益財団法人の活動の中で、有益なファンとなるよう変化が求められている。



YWCAの多岐にわたる活動をより身近に感じてもらえることを期待したい。また、機関紙発送時にアンケートを同封することが提案された。

## ● 活動実績

開催日	プログラム名 (場所は全て神戸YWCA)	テーマ・主な内容	参加人数	延参加人数	平均 参加人数
4月20日	第1回機関紙編集部会	部会の役割担当変更企画と作業 6・7月号の企画編集	5	35	6
6月15日	第2回機関紙編集部会	8・9月号の企画編集	7		
8月17日	第3回機関紙編集部会	10・11月号の企画編集	5		
10月19日	第4回機関紙編集部会	12・1月号の企画編集	6		
12月14日	第5回機関紙編集部会	2・3月号の企画編集	6		
2月15日	第6回機関紙編集部会	4・5月号の企画編集	6		

開催日	プログラム・イベント名 (場所)	テーマ・主な内容	参加人数
4月1日	4・5月号作業	最終校正	2
4月6日	4・5月号作業	発送	9
5月18日	6・7月号作業	生原稿チェック	4
5月25日	6・7月号作業	レイアウトチェック	3
5月29日	6・7月号作業	最終校正	2
6月4日	6・7月号作業	発送	5
7月13日	8・9月号作業	生原稿チェック	3
7月24日	8・9月号作業	レイアウトチェック	3
7月28日	8・9月号作業	最終校正	3
8月3日	8・9月号作業	発送	5
9月9日	10・11月号作業	生原稿チェック	4
9月17日	10・11月号作業	レイアウトチェック	3
9月27日	10・11月号作業	最終校正	3
10月1日	10・11月号作業	発送	5
11月13日	12・1月号作業	生原稿チェック	4
11月20日	12・1月号作業	レイアウトチェック	4
11月25日	12・1月号作業	最終校正	3
12月3日	12・1月号作業	発送	6
1月12日	2・3月号作業	生原稿チェック	4
1月20日	2・3月号作業	レイアウトチェック	4
1月25日	2・3月号作業	最終校正	2
2月1日	2・3月号作業	発送	5
3月14日	4・5月号作業	生原稿チェック	4
3月24日	4・5月号作業	レイアウトチェック	3
延参加人数 (全24プログラム)			93

## 理事会

理事長 平山芳子  
 理事 大工原則子、三浦啓子、モーア・アン、宮田泰子  
 常務理事 寺内真子

## ● 方針・目標

将来の時代状況の変化を見据え、中長期ビジョンプロジェクトから提示された事業課題を解決する。

- ・新規事業に取り組む。
- ・広報とファンドレイジングに力を入れる。
- ・ファンドレイジングに繋がる広報のツールを作成する。

## ● 報告

中長期ビジョンプロジェクト第6回から第9回までを開催。昨年からの懸案事項であった新規事業への取り組みとして、小規模保育事業について検討を重ねた。この事業は女性の自立と社会参加を促進し、子どもの成長を支援するため、神戸YWCAの目的に合致しており、まさに時を得た事業であると判断。8月に神戸市に計画申請が受理されて以降、小規模保育事業プロジェクトを立ち上げ、「神戸YWCA保育園」の2016年4月1日開園に向けて施設改修工事や組織作りなどの準備を行った。この事業立ち上げのために、3,000万円の長期借入を行った。

また、昨年度のまごの手運営委員会の流れを受けて、今年度も独立行政法人福祉医療機構（WAM）の助成金を得て、『食』をとおして地域をつなぐ」事業を実施した。

広報とファンドレイジングについては、小規模保育立ち上げのための寄附を募ったが、目標額の300万円を達成することができず、次年度も引き続き寄附を募ることを検討している。

財政面からは、公益法人として持続可能な活動を行うため、寄附金収入を増やすことが課題となっている。様々な公益活動が展開され、それぞれ寄附を募っているが、より効果的に寄附を集められるように考える必要がある。

広報ツールとしては、デザインを一新した新しいパンフレットを作成した。今後、活用していきたい。

## ● 実績

開催日	理事会	出席理事数	出席監事数
6月20日	第1回理事会	6	2
10月3日	第2回理事会	4	2
11月7日	第3回理事会	5	2
11月28日	第4回理事会	6	2
12月26日	第5回理事会	6	2
1月23日	第6回理事会	4	2
2月8日	第7回理事会	4	2
2月8日	第8回理事会	4	2
3月5日	第9回理事会	6	2
3月28日	第10回理事会	6	2
4月30日	第11回理事会	6	2
5月28日	第12回理事会	5	2

開催日	プロジェクト	出席理事数	出席監事数
5月2日	第7回中長期ビジョンプロジェクト	4	2
5月30日	第8回中長期ビジョンプロジェクト	4	2

開催日	プロジェクト	出席理事数	出席監事数	出席職員数
9月5日	第1回小規模保育プロジェクト	5	1	6
10月3日	第2回小規模保育プロジェクト	4	2	6
11月7日	第3回小規模保育プロジェクト	5	2	6
12月12日	第4回小規模保育プロジェクト	6	0	4

## 監事



監事 川辺比呂子、川関敏恵

## 評議員会

評議員 佐治雅子、柴田富士子、島田恒、下村俊子、関本雅子、寺澤京子、鶴崎祥子、藤野達也、松浦裕子

開催日	評議員会	出席評議員数	欠席評議員数
6月20日	第5回定時評議員会	7	2



カフェもぐもぐ

# 会 勢 報 告

会員・会友数

2016/3/31

		2013年	2014年	2015年	増減
成人会員		153	149	144	-5
青年会員		5	4	2	-2
年少会員		5	2	2	0
合 計		163	155	148	-7
賛助員	個人	30	18	20	2
	法人	1	1	1	0
会 友		14	10	8	-2

会員・会友年齢別

2016/3/31

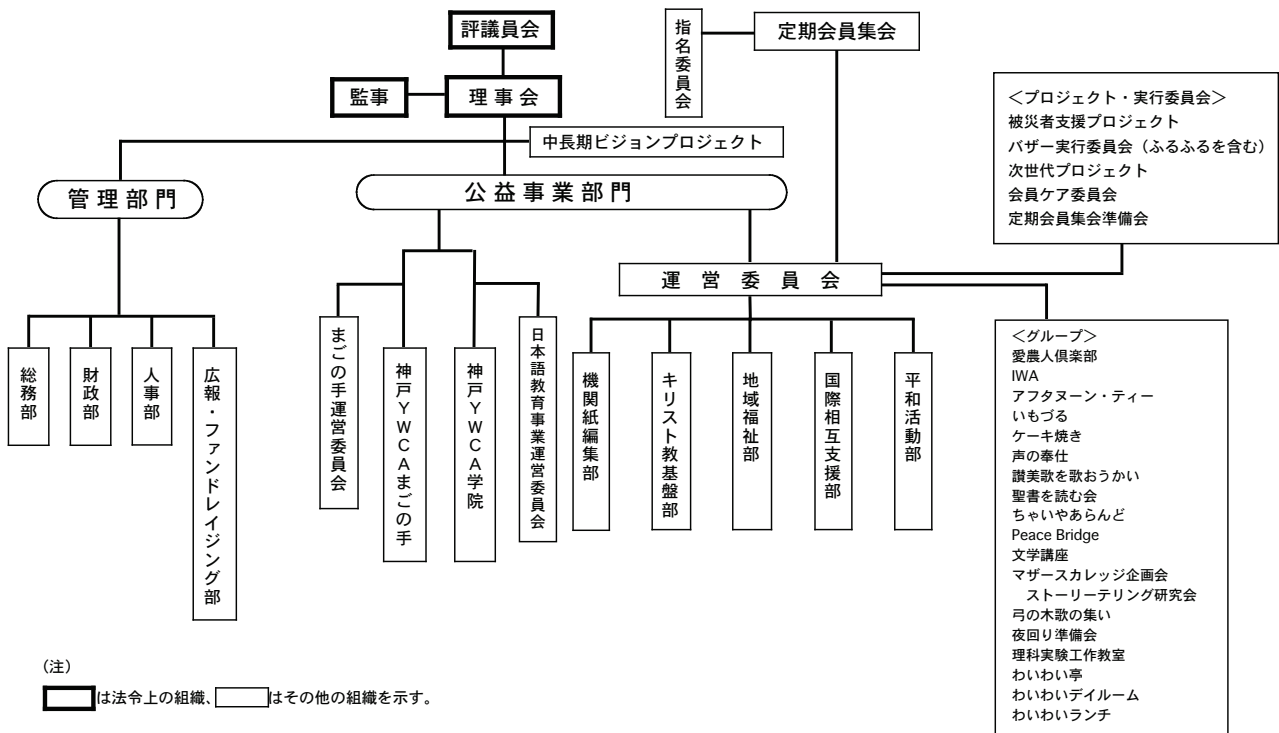
年齢別	会員	会友
12歳未満	0	0
12～17歳	0	0
18～24歳	2	0
25～29歳	2	0
30～39歳	7	2
40～49歳	11	1
50～59歳	21	0
60～69歳	40	3
70～79歳	32	2
80歳以上	25	0
不 明	8	0
合 計	148	8

職員数

2016/3/31

	女	男	合 計	備考
幹事職	7	0	7	
パート職員 (総務・分室)	5	1	6	うち兼務 1(女)
まごの手職員	7	0	7	
まごの手 パート職員	40	1	41	うち兼務 1(女)
学院講師	15	6	21	
合 計	73	8	81	

# 2015 年度公益財団法人神戸 YWCA 組織図



## ■ 評議員

佐治雅子  
柴田富士子  
島田恒  
下村俊子  
関本雅子  
寺澤京子  
鶴崎祥子  
藤野達也  
松浦裕子

## ■ 理事

理事長	平山芳子
理事	大工原則子
理事	三浦啓子
理事	宮田泰子
理事	モーア・アン・チョウ
常務理事	寺内真子

## ■ 監事

監事	川関敏恵
監事	川邊比呂子

## ■ 運営委員

会長	鶴崎祥子
副会長	斎藤明子、西岡容子
書記	野村春美、宮田泰子
会計	谷合公江

## ■ 職員 (幹事職)

総幹事	寺内真子
幹事	秋月啓子
幹事	伝明地敦子
幹事	松田恵美子
幹事	西本玲子
幹事補	梅川玲子(2016年3月から)
幹事補	大江雅子(2016年1月まで)
幹事補	原田雅子





7.18 アベ政治を許さない市民デモ KOBE



「トライやるウィーク」でわいわいランチボランティアを体験



マゼースカレッジ公開講座

# 決算報告書

第 95 期

自 平成27年 4月 1日

至 平成28年 3月31日

公益財団法人 神戸YWCA

神戸市中央区二宮1丁目12-10

## 貸借対照表

公益財団法人 神戸YWCA

平成28年 3月31日現在 (単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
〔 資 産 の 部 〕			
【 流 動 資 産 】			
現 金 預 金	27,143,960	6,063,945	21,080,015
未 収 金	15,647,951	15,316,673	331,278
その他当座資産	7,717	7,466	251
貯 蔵 品	434,386	386,829	47,557
前 払 金	0	401,650	△ 401,650
前 払 費 用	339,510	0	339,510
立 替 金	40,964	3,249	37,715
仮 払 金	1,932,074	0	1,932,074
流動資産合計	45,546,562	22,179,812	23,366,750
【 固 定 資 産 】			
( 基 本 財 産 )			
その他基本財産	1,000,000	1,000,000	0
基本財産合計	1,000,000	1,000,000	0
( 特 定 資 産 )			
その他積立資産	21,246,803	3,645,703	17,601,100
特定資産合計	21,246,803	3,645,703	17,601,100
(その他固定資産)			
建 物	66,425,509	64,924,036	1,501,473
什 器 備 品	8	11	△ 3
土 地	95,000,000	95,000,000	0
電 話 加 入 権	284,320	284,320	0
その他無形固定資産	0	13,679	△ 13,679
その他固定資産合計	161,709,837	160,222,046	1,487,791
固定資産合計	183,956,640	164,867,749	19,088,891
資 産 合 計	229,503,202	187,047,561	42,455,641
〔 負 債 の 部 〕			
【 流 動 負 債 】			
未 払 金	3,439,670	4,933,674	△ 1,494,004
前 受 金	809,208	393,712	415,496
預 り 金	1,004,722	955,333	49,389
仮 受 金	64,080	34,700	29,380
流動負債合計	5,317,680	6,317,419	△ 999,739
【 固 定 負 債 】			
長 期 借 入 金	29,845,000	0	29,845,000
固定負債合計	29,845,000	0	29,845,000
負 債 合 計	35,162,680	6,317,419	28,845,261
〔 正 味 財 産 の 部 〕			
【 指 定 正 味 財 産 】			
寄 付 金	4,746,803	3,645,703	1,101,100
指定正味財産合計	100,746,803	99,645,703	1,101,100
(うち基本財産への充当額)	( 1,000,000)	( 1,000,000)	( 0)
(うち特定資産への充当額)	( 21,246,803)	( 3,645,703)	( 17,601,100)
【 一 般 正 味 財 産 】			
その他一般正味財産	93,593,719	81,084,439	12,509,280
一般正味財産合計	93,593,719	81,084,439	12,509,280
正 味 財 産 合 計	194,340,522	180,730,142	13,610,380
負債及び正味財産合計	229,503,202	187,047,561	42,455,641

## 附属明細書

自 平成 27 年 4 月 1 日 至 平成 28 年 3 月 31 日

公益財団法人 神戸YWCA

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	定期預金 (UFJ 信託/神戸)	1,000,000	0	0	1,000,000
	基本財産計	1,000,000	0	0	1,000,000
特定資産	資産取得資金				
	保育所への改装資金	0	16,500,000	0	16,500,000
	指定寄付金				
	被災者支援	1,819,666	109,100	600,000	1,328,766
	指導者養成	555,010	20,000	0	575,010
	学院奨学金	1,271,027	543,750	0	1,814,777
	小規模保育	0	1,028,250		1,028,250
特定資産合計	3,645,703	18,201,100	600,000	21,246,803	

※資産取得資金は未収計上。平成 28 年 5 月に神戸市から補助金として入金の手配。

指定寄付金は三井住友銀行 三宮支店 #9657246 に預け入れ。

### 2. 引当金の明細

引当金はありません。

正味財産増減計算書

公益財団法人 神戸YWCA

自 平成27年 4月 1日 至 平成28年 3月31日 (単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
〔一般正味財産増減の部〕			
〔経常増減の部〕			
〔経常収益〕			
【基本財産運用益】			
基本財産受取利息	251	251	0
【受取会費】			
正会員受取会費	1,512,000	1,721,000	△ 209,000
特別会員受取会費	72,000	96,000	△ 24,000
【事業収益】			
事業収益	116,159,486	123,399,348	△ 7,239,862
【受取補助金等】			
受取国庫補助金	0	860,978	△ 860,978
受取地方公共団体補助金	17,500,000	0	17,500,000
受取民間補助金	200,000	330,000	△ 130,000
受取国庫助成金	6,227,774	4,405,703	1,822,071
受取地方公共団体助成金	297,097	384,698	△ 87,601
受取民間助成金	4,062,500	5,293,704	△ 1,231,204
【受取負担金】			
受取負担金	0	36,000	△ 36,000
【受取寄付金】			
受取寄付金	3,569,818	4,608,962	△ 1,039,144
受取寄付金振替額	600,000	50,061	549,939
【雑収益】			
受取利息	2,099	1,957	142
雑収益	466,150	41,528	424,622
経常収益計	150,669,175	141,230,190	9,438,985
〔経常費用〕			
【事業費】			
給料手当	79,754,478	86,169,715	△ 6,415,237
賞与	7,545,446	8,188,683	△ 643,237
退職給付費用	1,674,987	1,706,530	△ 31,543
法定福利費	7,765,611	7,682,785	82,826
福利厚生費	171,013	173,073	△ 2,060
その他人件費	6,676,981	7,892,425	△ 1,215,444
広告宣伝費	673,888	315,612	358,276
接待交際費	1,512	2,997	△ 1,485
旅費交通費	944,721	1,203,724	△ 259,003
通信運搬費	1,739,012	1,992,877	△ 253,865
減価償却費	2,523,532	2,420,642	102,890
消耗品費	3,423,255	2,342,837	1,080,418
修繕費	254,305	254,244	61
印刷製本費	409,037	557,484	△ 148,447
燃料費	0	6,948	△ 6,948
光熱水料費	1,743,595	1,852,888	△ 109,293
賃借料	1,176,224	1,169,202	7,022
保険料	888,590	747,948	140,642
諸謝金	3,388,104	3,463,861	△ 75,757
租税公課	2,609,068	1,908,955	700,113
委託費	2,683,657	2,308,070	375,587
雑費	10,000	14,552	△ 4,552
その他事業費	4,445,158	6,431,533	△ 1,986,375
【管理費】			
給料手当	2,665,343	2,651,894	13,449
賞与	612,941	635,134	△ 22,193
退職給付費用	160,908	146,910	13,998
法定福利費	581,739	535,440	46,299
福利厚生費	6,861	7,387	△ 526

正味財産増減計算書

公益財団法人 神戸YWCA

自 平成27年 4月 1日 至 平成28年 3月31日 (単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
その他人件費	98,173	122,770	△ 24,597
広告宣伝費	3,461	10,000	△ 6,539
旅費交通費	7,771	10,116	△ 2,345
通信運搬費	41,859	42,262	△ 403
減価償却費	85,479	156,402	△ 70,923
消耗品費	41,048	91,556	△ 50,508
修繕費	12,520	7,733	△ 4,787
印刷製本費	6,847	16,991	△ 10,144
光熱水料費	215,535	211,548	△ 3,987
賃貸借料	87,262	91,138	△ 3,876
保険料	15,509	16,824	△ 1,315
諸謝金	0	34,302	△ 34,302
租税公課	73,982	38,295	△ 35,687
支払負担金	998,458	1,077,700	△ 79,242
支払寄付金	0	253,000	△ 253,000
支払利息	50,280	0	△ 50,280
雑費	1,102	24,000	△ 22,898
その他管理費	1,890,643	1,856,934	△ 33,709
経常費用計	138,159,895	146,845,921	△ 8,686,026
評価損益等調整前当期経常増減額	12,509,280	△ 5,615,731	△ 18,125,011
当期経常増減額	12,509,280	△ 5,615,731	△ 18,125,011
税引前当期一般正味財産増減額	12,509,280	△ 5,615,731	△ 18,125,011
当期一般正味財産増減額	12,509,280	△ 5,615,731	△ 18,125,011
一般正味財産期首残高	81,084,439	86,700,170	△ 5,615,731
一般正味財産期末残高	93,593,719	81,084,439	△ 12,509,280
〔指定正味財産増減の部〕			
【受取寄付金】			
受取寄付金	1,701,100	822,824	△ 878,276
【一般正味財産への振替額】			
一般正味財産への振替額	△ 600,000	△ 50,061	△ 549,939
当期指定正味財産増減額	1,101,100	772,763	△ 328,337
指定正味財産期首残高	99,645,703	98,872,940	△ 772,763
指定正味財産期末残高	100,746,803	99,645,703	△ 1,101,100
正味財産期末残高	194,340,522	180,730,142	△ 13,610,380

財務諸表に対する注記

公益財団法人 神戸YWCA 自平成27年4月1日 至平成28年3月31日

1. 重要な会計方針

「公益法人会計基準」(平成20年4月11日内閣府公益認定等委員)を適用しています。

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

評価基準は原価法によっています。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定率法による減価償却を実施しています。ただし、建物については定額法で実施しています。

無形固定資産 定額法による減価償却を実施しています(電話加入権を除く)。

有形固定資産、無形固定資産ともに直接法で表示しています。

(3) リース取引の処理方法

賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

(4) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税については、税込み方式によっています。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は次のとおりです。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	1,000,000			1,000,000
小計	1,000,000			1,000,000
特定資産				
(資産取得資金)				
保育所への改装資金	0	16,500,000		16,500,000
(指定寄付金)				
被災者支援	1,819,666	109,100	600,000	1,328,766
指導者養成	555,010	20,000		575,010
学院奨学金	1,271,027	543,750		1,814,777
小規模保育	0	1,028,250		1,028,250
小計	3,645,703	18,201,100	600,000	21,246,803
合計	4,645,703	18,201,100	600,000	22,246,803

3. 基本財産および特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は次のとおりです。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	1,000,000	1,000,000		
小計	1,000,000	1,000,000		
特定資産				
(資産取得資金)				
保育所補助金	16,500,000		16,500,000	
(指定寄付金)				
被災者支援	1,328,766	1,328,766		
指導者養成	575,010	575,010		
学院奨学金	1,814,777	1,814,777		
小規模保育	1,028,250	1,028,250		
小計	21,246,803	4,746,803	16,500,000	
合計	22,246,803	5,746,803	16,500,000	

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	99,560,850	33,135,341	66,425,509
器具及び備品	3,086,000	3,085,992	8
ソフトウェア	410,287	410,287	0
合計	103,057,137	36,631,620	66,425,517

5. その他

職員の退職金支給にそなえるため、中小企業退職金共済制度に加入しています。



正味財産増減計算書内訳表

公益財団法人 神戸YWCA

自 平成27年 4月 1日 至 平成28年 3月31日 (単位:円)

科 目	公益目的事業会計		法人会計	
	公益事業部	小 計	法人会計	小 計
〔一般正味財産増減の部〕				
〔経常増減の部〕				
〔経常収益〕				
【基本財産運用益】				
基本財産受取利息	0	0	251	251
【受取会費】				
正会員受取会費	0	0	1,512,000	1,512,000
特別会員受取会費	0	0	72,000	72,000
【事業収益】				
事業収益	116,159,486	116,159,486	0	0
【受取補助金等】				
受取地方公共団体補助金	17,500,000	17,500,000	0	0
受取民間補助金	200,000	200,000	0	0
受取国庫助成金	6,227,774	6,227,774	0	0
受取地方公共団体助成金	297,097	297,097	0	0
受取民間助成金	4,062,500	4,062,500	0	0
【受取寄付金】				
受取寄付金	1,953,771	1,953,771	1,616,047	1,616,047
受取寄付金振替額	600,000	600,000	0	0
【雑収益】				
受取利息	467	467	1,632	1,632
雑収益	0	0	466,150	466,150
経常収益計	147,001,095	147,001,095	3,668,080	3,668,080
〔経常費用〕				
【事業費】				
給料手当	79,754,478	79,754,478	0	0
賞与	7,545,446	7,545,446	0	0
退職給付費用	1,674,987	1,674,987	0	0
法定福利費	7,765,611	7,765,611	0	0
福利厚生費	171,013	171,013	0	0
その他人件費	6,676,981	6,676,981	0	0
広告宣伝費	673,888	673,888	0	0
接待交際費	1,512	1,512	0	0
旅費交通費	944,721	944,721	0	0
通信運搬費	1,739,012	1,739,012	0	0
減価償却費	2,523,532	2,523,532	0	0
消耗品費	3,423,255	3,423,255	0	0
修繕費	254,305	254,305	0	0
印刷製本費	409,037	409,037	0	0
光熱水料費	1,743,595	1,743,595	0	0
賃借料	1,176,224	1,176,224	0	0
保険料	888,590	888,590	0	0
諸謝金	3,388,104	3,388,104	0	0
租税公課	2,609,068	2,609,068	0	0
委託費	2,683,657	2,683,657	0	0
雑費	10,000	10,000	0	0
その他事業費	4,445,158	4,445,158	0	0
【管理費】				
給料手当	0	0	2,665,343	2,665,343
賞与	0	0	612,941	612,941
退職給付費用	0	0	160,908	160,908
法定福利費	0	0	581,739	581,739
福利厚生費	0	0	6,861	6,861
その他人件費	0	0	98,173	98,173

正味財産増減計算書内訳表

公益財団法人 神戸YWCA

自 平成27年 4月 1日 至 平成28年 3月31日 (単位：円)

科 目	公益目的事業会計		法人会計	
	公益事業部	小 計	法人会計	小 計
広告宣伝費	0	0	3,461	3,461
旅費交通費	0	0	7,771	7,771
通信運搬費	0	0	41,859	41,859
減価償却費	0	0	85,479	85,479
消耗品費	0	0	41,048	41,048
修繕費	0	0	12,520	12,520
印刷製本費	0	0	6,847	6,847
光熱水料費	0	0	215,535	215,535
賃借料	0	0	87,262	87,262
保険料	0	0	15,509	15,509
租税公課	0	0	73,982	73,982
支払負担金	0	0	998,458	998,458
支払利息	0	0	50,280	50,280
雑費	0	0	1,102	1,102
その他管理費	0	0	1,890,643	1,890,643
経常費用計	130,502,174	130,502,174	7,657,721	7,657,721
評価損益等調整前当期経常増減額	16,498,921	16,498,921	△ 3,989,641	△ 3,989,641
当期経常増減額	16,498,921	16,498,921	△ 3,989,641	△ 3,989,641
税引前当期一般正味財産増減額	16,498,921	16,498,921	△ 3,989,641	△ 3,989,641
当期一般正味財産増減額	16,498,921	16,498,921	△ 3,989,641	△ 3,989,641
一般正味財産期首残高	7,025,405	7,025,405	△ 8,308,617	△ 8,308,617
一般正味財産期末残高	23,524,326	23,524,326	△ 12,298,258	△ 12,298,258
[指定正味財産増減の部]				
【受取寄付金】				
受取寄付金	1,701,100	1,701,100	0	0
【一般正味財産への振替額】				
一般正味財産への振替額	△ 600,000	△ 600,000	0	0
当期指定正味財産増減額	1,101,100	1,101,100	0	0
指定正味財産期首残高	3,345,703	3,345,703	0	0
指定正味財産期末残高	4,446,803	4,446,803	0	0
正味財産期末残高	27,971,129	27,971,129	△ 12,298,258	△ 12,298,258

**財産目録**  
**平成28年 3月31日現在**

公益財団法人 神戸YWCA

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
流動資産			
現金	手許保管	運転資金として	877,745
普通預金	三井住友銀行 三宮支店 NO. 1015232	運転資金として	4,501,396
	同上 NO. 9657246	運転資金として	34,436
	同上 NO. 3600133	運転資金として	37,291
	同上 NO. 8350060	運転資金として	41,359
	同上 NO. 889763	運転資金,保育事業設備工事費	21,101,216
	振替貯金 郵貯銀行 01100-0-10298	運転資金として	42,726
	同上 14380-20680301	運転資金として	5,472
	同上	運転資金として	502,319
		<現・預金計>	27,143,960
その他当座資産	UFJ信託銀行神戸支店 定期預金利息	運転資金として	7,717
棚卸し資産	貯蔵品/切手	共用財産	434,386
前払費用	平成28年度損害保険料	共用財産	339,510
立替金	総務 通信費等	共用財産	40,964
未収金	まごの手等	公・介護事業収益等	15,647,951
仮払金	平成28年度のための支出	公・保育事業備品等	1,932,074
<b>流動資産合計</b>			<b>45,546,562</b>

**財産目録**  
平成28年 3月31日現在

公益財団法人 神戸YWCA

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
固定資産			
基本財産	定期預金 UFJ信託銀行神戸支店	管理運営に資するもの 運用益を管理運営に使用	1,000,000
特定資産			
保育所への改装資金	資産取得資金 神戸市からの補助金を未収計	会館1階を保育所へ改装	16,500,000
指定寄付金	三井住友銀行普通預金NO.9657246 ※口座残高4,781,239円うちの4,746,803円。 残額34,436円は運転資金。	被災者支援 指導者養成 学院奨学金 小規模保育事業	1,328,766 575,010 1,814,777 1,028,250
		<b>&lt;特定資産計&gt;</b>	21,246,803
その他固定資産			
建物	鉄骨造6階建て 会館	(共用財産) うち公益目的保有財産97.12% うち管理運営に資するもの2.88%	65,147,044 63,272,635 1,874,409
	分室	公益目的保有財産	1,278,465
		<b>&lt;建物計&gt;</b>	66,425,509
土地	神戸市中央区二宮町1丁目 174.08m <sup>2</sup>	(共用財産) うち公益目的保有財産97.12% うち管理運営に資するもの2.88%	95,000,000 92,264,000 2,736,000
什器備品	受付カウンター等	公益目的保有財産	8
電話加入権	7口	管理運営に資するもの	284,320
		<b>&lt;その他固定資産計&gt;</b>	161,709,837
<b>固定資産合計</b>			<b>183,956,640</b>
	うち公益目的保有財産		156,815,108
	うち特定資産		21,246,803
	うち管理運営に資するもの		5,894,729
<b>資産合計</b>			<b>229,503,202</b>

**財産目録**  
平成28年 3月31日現在

公益財団法人 神戸YWCA

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
<b>流動負債</b>			
未払金	まごの手 給与手当・交通費等 その他	公・介護事業の person 費 公・事業費 <b>&lt;未払金計&gt;</b>	2,467,342 972,328 3,439,670
前受金	平成28年度 各会費 平成28年度 各受講料	管理運営に資する翌事業年度の会費 公・各講座の翌事業年度の受講料 <b>&lt;前受金計&gt;</b>	153,000 656,208 809,208
仮受金	絵本代金等	公・イベント時販売代金を仮受	64,080
預り金	役職員他 役職員他 役職員他 その他	源泉所得税 住民税 社会保険料 公・被災地の事業者販売代金等 <b>&lt;預り金計&gt;</b>	330,008 133,800 513,604 27,310 1,004,722
<b>流動負債合計</b>			<b>5,317,680</b>
<b>固定負債</b>			
長期借入金	日本政策金融公庫	公・保育事業設備工事費, 運転資金	29,845,000
<b>固定負債合計</b>			<b>29,845,000</b>
<b>負債合計</b>			<b>35,162,680</b>
<b>正味財産</b>			
指定正味財産	三井住友銀行 三宮支店 NO. 9657246 同上 NO. 9657246 同上 NO. 9657246 同上 NO. 9657246 定期預金 UFJ信託銀行神戸支店 土地 神戸市中央区二宮町1丁目 174.08m2	指定寄付金 被災者支援 指定寄付金 指導者養成 指定寄付金 学院奨学金 指定寄付金 小規模保育事業 基本財産 <b>&lt;指定正味財産計&gt;</b>	1,328,766 575,010 1,814,777 1,028,250 1,000,000 95,000,000 100,746,803
一般正味財産			93,593,719
<b>正味財産合計</b>			<b>194,340,522</b>
<b>負債及び正味財産合計</b>			<b>229,503,202</b>

(注) 平成27年度期首及び期末の公益目的保有財産額の合計は次のとおりです。

(単位:円)

期首	155,127,838
期末	156,815,108

# 監査報告書

公益財団法人 神戸YWCA

理事長 平山 芳子 殿

平成28年 5月28日

公益財団法人 神戸YWCA

監事 川関敏恵

公益財団法人 神戸YWCA

監事 川邊比呂子

私たち監事は、平成27年 4月 1日から平成28年 3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

## 1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決済書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

## 2 監査意見

### (1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。



公益財団法人 神戸 **YWCA**

〒651-0093 神戸市中央区二宮町 1-12-10

tel. 078-231-6201 fax. 078-231-6692

e-mail: [office@kobe.ywca.or.jp](mailto:office@kobe.ywca.or.jp)

[www.kobe.ywca.or.jp](http://www.kobe.ywca.or.jp)

**YWCA**

(ワイ・ダブリュー・シー・エー  
Young Women's Christian Association) は…

キリスト教を基盤に、世界中の女性が言語  
や文化の壁を越えて力を合わせ、女性の社  
会参画を進め、人権や健康や環境が守られ  
る平和な世界を実現する国際 NGO です。